

令和7年度第2回高知県スポーツ振興県民会議 次第

日時：令和7年11月6日（木）

13:30～15:30

場所：高知サンライズホテル

2階 向陽の間

1 開会

2 会長・副会長の選任

3 議事

(1) 第3期高知県スポーツ推進計画の取組状況及び令和8年度の取組強化の方向性について

(2) その他

・新県民体育館の整備等について

・令和6年スポーツツーリズムによる経済波及効果等について

4 閉会

資料1-1	第3期高知県スポーツ推進計画について
資料1-2	『柱1 スポーツ参加の拡大』の取組状況等について
資料1-3	『柱2 競技力の向上』の取組状況等について
資料1-4	『柱3 スポーツを通じた活力ある県づくり』の取組状況等について
資料2	新県民体育館の整備等について
資料3	令和6年スポーツツーリズムによる経済波及効果等について
参考資料1	令和7年度スポーツ施策の取組状況（重点施策）について
参考資料2	スポーツ施策の取組強化の方向性について（ポンチ絵）
参考資料3	令和7年度各部局のスポーツ関連施策の取組状況について

令和7年度第2回高知県スポーツ振興県民会議 出席者名簿

〈五十音順〉

任期：R7.10.1～R9.9.30

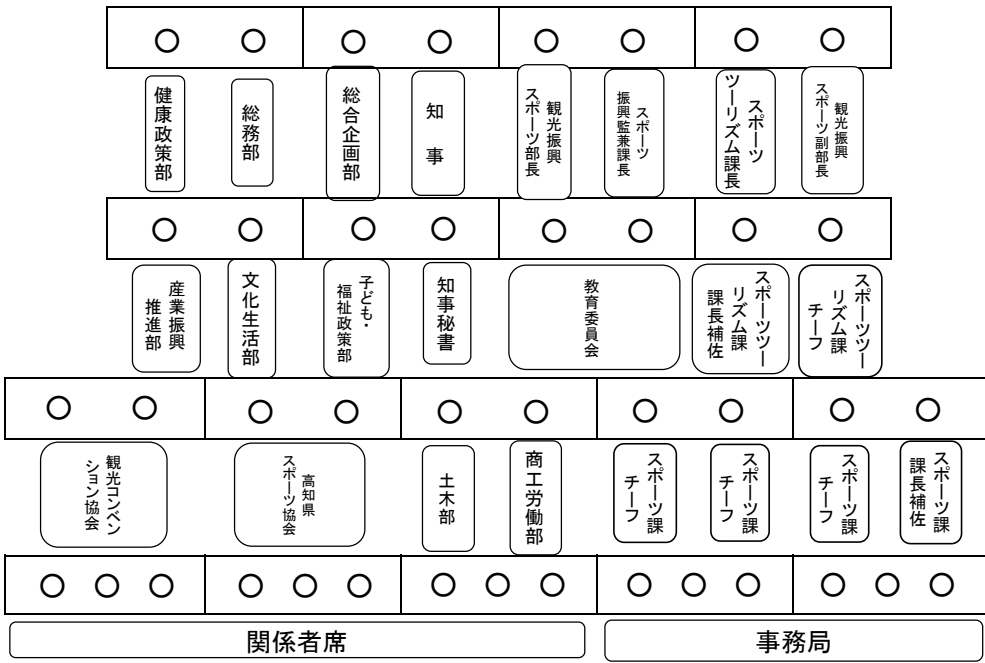
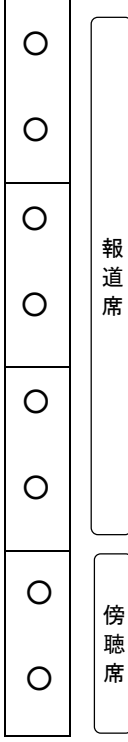
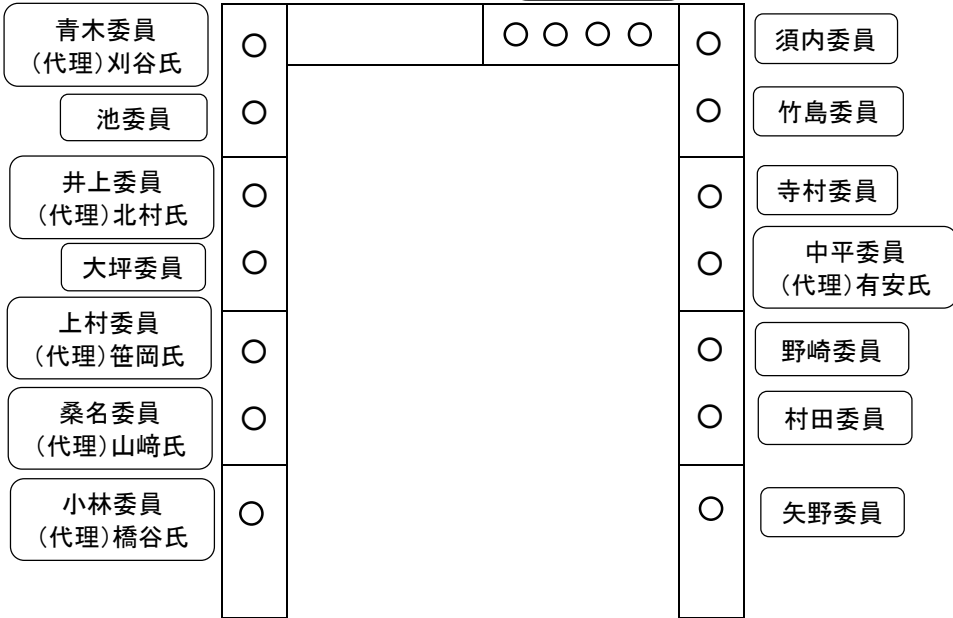
NO	氏 名	所 属・役 職	出 欠
1	青 木 章 泰	公益財団法人高知県スポーツ協会 会長	刈谷専務理事 代理出席
2	池 透 暢	東京2020パラリンピック 車いすラグビー競技日本代表 パリ2024パラリンピック 車いすラグビー競技日本代表	出席
3	井 上 浩 之	社会福祉法人高知県社会福祉協議会 会長	北村参加支援グループ長 代理出席
4	大 坪 豊 寿	公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士	出席
5	上 村 誠	高知県町村会 会長	笹岡事務局長 代理出席
6	桑 名 龍 吾	高知県市長会 会長	山崎事務局長 代理出席
7	小 林 達 司	株式会社四国銀行 取締役頭取	橋谷専務取締役 代理出席
8	小 林 博 隆	大阪体育大学スポーツ科学部スポーツ科学科 准教授	(欠席)
9	櫻 井 つ ぐ み	パリ2024オリンピック レスリング競技日本代表	WEB出席
10	須 内 康 雄	高知県小中学校長会 会長	出席
11	竹 島 晶 代	モスクワオリンピック バレーボール競技日本代表 高知県公立大学法人高知工科大学女子バレー部 監督	出席
12	武 市 光 徳	高知県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 理事長	WEB出席
13	寺 村 妙	子育て支援サークルままだいすき 代表 高知県若者応援産学官フォーラム出合い促進分科会 委員	出席
14	中 平 雅 彦	株式会社高知新聞社 代表取締役社長	有安総合企画局長 兼 秘書部長 代理出席
15	野 崎 美 香	公益財団法人高知県観光コンベンション協会 国内誘致部長	出席
16	前 田 和 範	高知県公立大学法人高知工科大学経済・マネジメント学群 講師 一般社団法人高知県スポーツコミッション 理事	(欠席)
17	丸 朋 子	大阪成蹊大学経営学部スポーツマネジメント学科 講師 新県民体育館整備等基本計画検討会 委員	WEB出席
18	村 田 正 洋	公益財団法人高知県スポーツ振興財団 高知県スポーツ科学センター センター長	出席
19	矢 野 宏 光	国立大学法人高知大学教育学部 教授	出席
20	柳 裕 貴	PERF株式会社 代表取締役社長	WEB出席

令和7年度 第2回高知県スポーツ振興県民会議 配席図

日時: 令和7年11月6日(木)
13:30~15:30
場所: 高知サンライズホテル
2階 向陽の間

【WEB】
櫻井委員
武市委員
丸委員
柳委員

司会



出入口

出入口

出入口

出入口

第3期高知県スポーツ推進計画（令和5年度～令和9年度）について

計画の基本方針（第3期高知県スポーツ推進計画が目指すもの）

本県のスポーツの現状と課題を捉えたうえで、誰もがスポーツの楽しさや感動を得られる環境をつくとともに、青少年の健全育成や女性のスポーツ参加促進、共生社会の実現、生きがいづくりや健康づくり、地域間・世代間などの様々な交流の促進など、スポーツを通じて全ての県民や県内全ての地域を元気にする取り組みを進め、スポーツの楽しさや感動を共有し、希望と活力ある社会の実現を目指す。

また、スポーツを通じて、グローバルな社会課題を解決し、持続可能な世界の実現を目指すための国際目標であるSDGs（*）の達成に貢献する。

目指す姿

スポーツの楽しさや感動を共有し希望と活力ある社会の実現

基本理念

目指す姿の実現に向け2つの基本理念を設定

（1）誰もがスポーツの楽しさや感動を得られる環境づくりを推進する

県内すべての地域において、年齢、性別、障害の有無等に関わらず、誰もがスポーツによって「楽しさ」や「感動」を得られるよう、身近な地域で安心・安全に多様なスタイルでスポーツに親しむことができるとともに競技者や指導者が全国や世界を目指すことができる環境づくりを進める

（2）スポーツを通じて全ての県民や地域を元気にする

楽しさや感動が得られる多様なスポーツ活動を通じて、青少年の健全育成や共生社会の実現、生きがいづくりや健康づくり、地域間・世代間などの様々な交流の促進による地域の活性化など幅広い分野にスポーツの効果をつなげることを目指し、県民や地域を元気にする取り組みを進める



取り組み目標

目指す姿と計画の基本理念に基づき、

以下の3本柱の取り組み目標とこれらに横断的に関わる施策を定め、取り組みを推進する

◆施策の柱1 スポーツ参加の拡大

運動やスポーツが好きな子どもを増やす/全ての地域で多様なスポーツ参加を拡大

将来を見据え、運動やスポーツが好きな子どもを増やすとともに、県民の誰もが身近な地域で安心・安全にスポーツに親しむことができる機会の拡充を図り、「みる」「する」「ささえる」といった多様なスタイルで日常的にスポーツに参加する人口の増加を目指す

◆施策の柱2 競技力の向上

全国や世界で活躍する選手を多数輩出する

有望選手の発掘や系統的・組織的な育成・強化のさらなる充実を図り、全国トップレベルの選手を数多く育成するとともに、オリンピック・パラリンピックをはじめとする世界トップレベルの大会に出場するなど、日本を代表する選手やそうした選手を支える指導者等を本県から多数輩出することを目指す

◆施策の柱3 スポーツを通じた活力ある県づくり

スポーツを通じて地域や経済を活性化

スポーツツーリズムの推進を通じて、スポーツによる県外からの誘客の増加等を図り、交流人口の拡大、健康づくり、まちづくり、雇用の創出など、地域や経済の活性化につなげる

◆3本の柱に横断的に関わる施策

デジタル技術の活用、産学官民の連携によるスポーツを支える体制の充実

新型コロナウイルス感染症の拡大やデジタル技術の革新によるライフスタイルの変化などの社会環境の変化による対応し、持続可能なスポーツ環境づくりを産学官民が連携して取り組みを進めます。



令和6年度に、パリ2024オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ機運の高まりやスポーツ活動へのニーズの変化に対応するため、取り組みの見直しや追加を行い、「第3期高知県スポーツ推進計画Ver.2」へバージョンアップ

1 第3期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和7年度9月末時点）

達成度＊：令和7年度末時点の達成見込み

項目	R9 目標	設定当初(R4)	R5			R6			R7			R8			R9			指標	進捗状況の基準
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度＊	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度		
運動が好きな子どもの割合	R4から5ポイント増	小5男92.1% 小5女85.9% 中2男89.5% 中2女79.1%	R4から1ポイント増	小5男93.2% 小5女89.3% 中2男86.3% 中2女77.4%	小5男:S 小5女:S 中2男:D 中2女:D	R4から2ポイント増	小5男92.5% 小5女84.7% 中2男91.2% 中2女77.5%	小5男:D 小5女:D 中2男:B 中2女:D	R4から3ポイント増	今冬公表予定		R4から4ポイント増			R4から5ポイント増		S	数値目標の達成率110%以上	
成人の週1回以上のスポーツ実施率	65%	51%	-	-	-	-	-	-	65%	「県民世論調査」12月公表予定		65%	スポーツ庁調査実施		65%		A	100%以上110%未満	
障害者が活動できるチームや団体数	37団体	27団体	29団体	29団体	A	31団体	30団体	B	33団体	31団体	B	35団体			37団体		B	70%以上85%未満	
																	C	70%以上85%未満	
																	D	70%未満	
																	-	達成度の判断が困難なもの	

2 R7の主な取組

達成度＊：令和7年度末時点の達成見込み

(1)子どものスポーツ環境づくり	(2)若者の関心が高い新たなスポーツの推進	(3)スポーツを支える人材の育成・確保	(4)障害者がスポーツに親しめる環境づくり
<p>【事業概要】 市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める（参考資料1 p.1参照）</p> <p>【R7年度末の目標値】 ①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数 → 24市町村 ②広域で連携した取組が展開できているエリア数 → 4エリア ③子どもの体力・運動習慣の向上 → 小中学生の男女とも全国平均を上回る</p> <p>【R7.9末実績（達成度＊）】 ① 13市町村（D） ② 2エリア（C） ※幡多・嶺北 ③ 12月公表（-）</p> <p>【見えてきた課題】 ○ 県内の小学5・6年生を対象に実施した「部活動改革に関するアンケート調査」では、学校の授業以外でスポーツや文化芸術活動行っていない児童の割合は37.2%となっている。その理由として「希望する活動がないため」と回答した割合が23.6%あり、身近な場所で行いたいスポーツができる場づくりが必要 ○ 地域には広域的な活動を推進する団体や人材が少ない</p>	<p>【事業概要】 県内の若者が地域で活躍する場を創出するため、若者が主役となる参加型イベントの実施により地域の活性化及びスポーツの推進を図る（参考資料1 p.1参照）</p> <p>【R7年度末の目標値】 ○ イベントへの参加者数 ・アーバンスポーツイベント → 1,000人 ・eスポーツイベント → 2,000人 ・ジュニア体験教室・競技大会（レクリング） → 520人 ・インクルーシブスポーツ → 800人</p> <p>【R7.9末実績（達成度＊）】 ○ イベントへの参加者数（-） ・アーバンスポーツイベント BMXイベント → 1月11日開催 ダンスイベント → 1月18日開催 ・eスポーツイベント → 1月31日・2月1日開催 ・ジュニア体験教室・競技大会（レクリング） → 6月28・29日開催、約650人（S） ・インクルーシブスポーツイベント → 11月30日開催</p> <p>【見えてきた課題】 ○ 地域でアーバンスポーツやeスポーツなど新たなスポーツに触れる機会が少ない。 ○ スポーツへの関心が低い若者への対策が必要</p>	<p>【事業概要】 有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・確保する（参考資料1 p.3参照）</p> <p>【R7年度末の目標値】 ○ 有資格指導者をR4から6%増 a: 日本スポーツ協会公認指導者資格 → 1,503人 b: 日本パラスポーツ協会指導員資格 → 219人</p> <p>【R7.9末実績（達成度＊）】 ○ a: 10月公表（-） b: 3月公表（-）</p> <p>【見えてきた課題】 ○ 県内大学生に実施した調査で、子どもへのスポーツ指導に興味のある大学生が多いことから、大学生を活用する仕組みが必要</p>	<p>【事業概要】 障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る（参考資料1 p.4参照）</p> <p>【R7年度末の目標値】 ① 障害者がスポーツ活動ができることができる団体数 → 33団体 ② 障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができているエリアの数 → 4エリア</p> <p>【R7.9末実績（達成度＊）】 ① 31団体（B） ② 3エリア（C）</p> <p>【見えてきた課題】 ○ 地域地域で障害者のスポーツ活動を支援する体制の強化が必要 ○ 障害のある方も無い方も一緒にスポーツを行うインクルーシブなスポーツ活動が少ない。</p>

3 令和8年度の取組強化に向けた方向性

(1)子どものスポーツ環境づくり（参考資料2 p.1～3参照）

- 国が行う部活動の地域展開施策と連動した取組の検討
 - ・市町村が行う部活動地域展開への支援
- 新** **拡** (部活動地域展開等推進事業費補助金(仮)の新設【保健体育課】)
 (子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金の拡充【スポーツ課])
- 地域おこし協力隊の配置や地域クラブとの連携強化
 - ・市町村域を超えた広域事業を推進する地域おこし協力隊の配置
 - ・ダンスによる地域活性化モデルの構築

(2)若者の関心が高い新たなスポーツの推進（参考資料2 p.2参照）

- 「みる」スポーツへの参加促進
 - ・市町村等が行うアーバンスポーツやeスポーツイベント等の開催支援（高知県スポーツイベント実施支援事業費補助金の拡充）

(3)スポーツを支える人材の育成・確保（参考資料2 p.4参照）

- 新たな人材の発掘
 - ・市町村や企業等と連携した、保護者や競技団体に登録していない地域の人材（競技経験者等）を対象とした指導者研修会の開催
 - ・大学生を対象とした子どもへの指導に関する研修会の開催

(4)障害者がスポーツに親しめる環境づくり（参考資料2 p.5参照）

- 拡** ○ 身近な地域におけるスポーツ機会の拡充
 - ・県内大学生と、地域の学校や障害者団体等と連携したインクルーシブなスポーツ活動の拡大
 - ・特別支援学校と連携した地域における障害者スポーツの拠点づくり
 - ・県障害者スポーツ大会での有望選手の発掘及び特別支援学校や競技団体等と連携した選手の育成

■地域クラブ (学校部活動から移行した活動だけでなく、学校以外のスポーツ少年団等が担う活動を含む)

No	市町村	クラブ数	競技	クラブ名	中体連登録	市町村認定	実証事業	備考
1	安芸市	1	バレーボール	エスペランサ安芸	○			
2	香南市	1	相撲	香南相撲クラブ	○			
3	香美市	1	柔道	土佐山田柔道クラブ	○			
4	南国市	5	バレーボール	まほろば南国女子バレーボールクラブ	○		○	様々な種目を体験し、運動を楽しく行うことを目的に活動
5			多様目型 (スポーツ鬼ごっこ等)	まほろば南国多様目型クラブ		○	○	
6			バレーボール	香長 ALL STARS	○			
7			柔道	岡豊ジュニア柔道クラブ	○			
8			バレーボール	まほろば南国男子バレーボールクラブ	○			
9	大豊町	1	バスケットボール	REIHOKU SWIFT	○			
10	本山町	1	陸上競技	アスリート嶺北	○			
11	土佐町	2	カヌー	さめうらカヌーアカデミー		○		競技団体主催大会に参加 (カヌーは中体連なし)
12			バレーボール	嶺北排球部	○			
13	土佐市	3	バドミントン	総合クラブとさ	○			
14			陸上競技	総合クラブとさ	○			
15			新体操	総合クラブとさ	○			
16	須崎市	2	相撲	須崎総合相撲クラブ	○			
17			柔道	須崎柔道會	○			
18	日高村	1	バドミントン	ラクーンジュニアバドミントンクラブ	○			
19	越知町	1	バスケットボール	おちスポーツクラブ		○	○	地域で活動しているが、中体連大会には学校部活動で参加
20	津野町	2	柔道	葉山柔道スポーツ少年団	○			
21			バドミントン	津野ジュニアバドミントンクラブ	○			
23	四万十町	1	水泳	窪川ISC	○			
24	四万十市	1	ソフトテニス	S×CREW			○	
25	土佐清水市	2	バドミントン	清水中学校	○		○	
26			硬式テニス	FSSテニスクラブ	○		○	
27	宿毛市	4	レスリング	すくもレスリングクラブ		○		競技団体主催大会に参加 (レスリングは中体連なし) 人数が4人しかいないため、大会に参加できていない
28			ソフトボール	宿毛ソフトボールクラブ		○		
29			バドミントン	宿毛ジュニアバドミントンクラブ	○			
30			相撲	宿毛相撲クラブ	○			
31	高知市	16	卓球	K-TTC	○			
32			バドミントン	横内ジュニアバドミントンクラブ	○			
33			相撲	南海クラブ (南海少年相撲クラブ)	○			
34			バレーボール	三里バレーボールクラブ	○			
35			バレーボール	秦ウイングスポーツ少年団	○			
36			新体操	高知RGクラブ	○			
37			陸上競技	タカギファイトCLUB	○			
38			陸上競技	池CLUB	○			
39			ソフトテニス	NEXUS高知	○			
40			柔道	武道館柔道クラブ	○			
41			柔道	励心柔道クラブ	○			
42			卓球	横浜JPC	○			
43			軟式野球	ST RISE	○			
44			ソフトボール	Kochi Tamon Jr.	○			
45	ソフトボール	高知パシフィックウェーブjr.	○					
46	バレーボール	高知横浜バレーボールクラブ	○					
	17市町村 (実証3市町)	45	16競技 (中体連登録13競技)		40	5	6	

■拠点校部活動 (在籍する学校に希望する部活動がない場合などに、1つの学校が拠点校となり、近隣の生徒を受け入れる)

No	市町村	拠点校・部活動	参加校名	備考
1	土佐町	土佐町中野球部	嶺北中	在籍校に部活動がない取組 (嶺北中に野球部がない)
2	土佐市	高岡中野球部	土佐南中、戸波中	統廃合に向けた取組 (令和10年統合予定)
3	四万十市	中村中男子バレーボール部	中村西中、片島中、清水中	広域的な取組 (幡多地域で唯一の男子バレー)
4		中村中柔道部	中村西中、県立中村中	自治体で部活動を整理した取組
5	宿毛市	宿毛中サッカー部	片島中、小筑紫中、東中、沖の島中	自治体で部活動を整理した取組
6		宿毛中柔道部	片島中、小筑紫中、東中、沖の島中	自治体で部活動を整理した取組
7		宿毛中剣道部	片島中、小筑紫中、東中、沖の島中	自治体で部活動を整理した取組
8		片島中相撲部	宿毛中、小筑紫中、東中、沖の島中	自治体で部活動を整理した取組
9	黒潮町	大方中野球部	佐賀中	自治体で部活動を整理した取組
	5市町9部活動			

若者の関心が高い新たなスポーツイベント

インクルーシブスポーツフェスタ (高知家みんなの運動会)

日時：令和7年11月30日(日) 13:00~16:00
場所：大旺新洋おまち多目的広場
主催：高知県
内容：障害のある方もない方も一緒に楽しめるインクルーシブな運動会
当日は県出身パラリンピアンやオリンピックなど参加

※出場予定ゲスト



池 透暢さん
(重いおらグビー)



鬼谷 慶子さん
(パラ陸上・円盤投げ)



清岡 幸太郎さん
(レスリング)



小松 沙季さん
(パラ陸上・やり投げ)



堀川 恵さん
(柔道)

BMX RAMP JAM (BMXイベント)

日時：令和8年1月11日(日) (予定)
場所：Godaisan"G"Park (GGP)
主催：高知BMX協会
内容：BMXフリースタイル(高さや離れ業を競うコンテスト)、
子どもや初心者のキックバイク体験、ダンス発表 等



BMX (フリースタイル)

Godaisan"G"Park (GGP)



What's up! (インクルーシブダンスイベント)

日時：令和8年1月18日(日) 13:00~18:00
場所：かるぽーと 四国銀行ホール
主催：高知県
内容：障害のある方もない方も参加するダンスイベント。
プロダンスチーム「CHANGE RAPTURES」のダンサーのよる
ダンス披露やダンスコンテスト等を実施



南コートでは、ストリートファイター6のほかに、ぷよぷよeスポーツ、太鼓の達人の体験や簡単なトーナメント戦を実施します。また、ファミリートレーナーなど体を動かすeスポーツの試遊も行います。



ぷよぷよeスポーツ



太鼓の達人ドンタフルフェスティバル



ファミリートレーナー

Enjoy Sports～体を動かそう～

（イオンモールイオンホール）

イオンホールでは「Enjoy Sports～体を動かそう！～」というテーマでeスポーツとリアルスポーツを融合させた企画を実施します。当イベントを通じて、特に子どもたちに体を動かしながらスポーツの楽しさを知ってもらい、同時に**連動するeスポーツゲームを体験**して、**スポーツを始めるきっかけ作り**につなげるのが狙いです。



パワフルプロ野球



eFootball



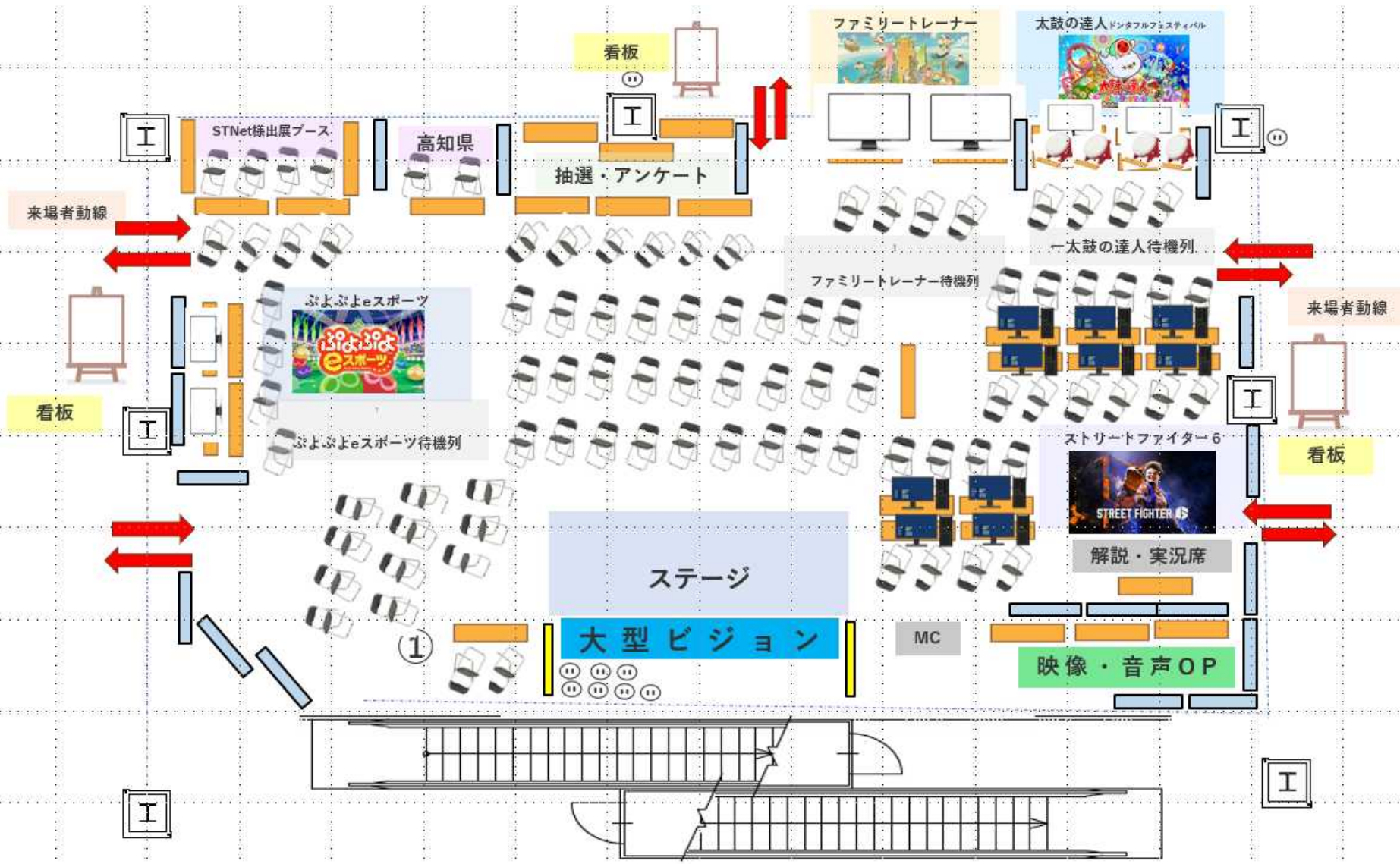
グランツーリスモ7



ジャストダンス



KOCHI eSports Festival 2026 会場展開①南コート



KOCHI eSports Festival 2026 会場展開②イオンホール



1 第3期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和7年度9月末時点）

達成度*：令和7年度末時点の達成見込み

項目	R9目標	設定当初(R4)	R5			R6			R7			R8			R9		
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度*	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度
全国入賞や国際大会に出場する選手・団体	200 ※	138	142	175	S	146	205	S	164 ※	142	S	182 ※			200 ※		
全国や世界を目指す障害者アスリート数	220人	192人	198	206	A	204人	208人	A	210人	1月公表予定		215			220人		

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率110%以上
A	100%以上 110%未満
B	85%以上 100%未満
C	70%以上 85%未満
D	70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

※R9目標値をver.2改訂の際に、160から200に上方修正（途中の年度についても上方修正）

2 R7の主な取組

達成度*：令和7年度末時点の達成見込み

(1) 競技力向上に向けた強化策

【事業概要】

競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる
（参考資料1 p.5 参照）

【R7年度末の目標値】

- ① 全国中学校体育大会の入賞競技数 → **7競技**
- ② 全国高等学校総合体育大会の入賞競技数 → **13競技**
- ③ 全高知チームにおける実践研修の実施状況 → **15チーム**
- ④ 障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数 → **10人**

【R7.9末実績（達成度*）】

- ① **5 (C)**
- ② **9 (D)**
- ③ **15チーム (A)**
- ④ **年度末に集計 (-)**

【見えてきた課題】

- 競技の特性に応じた計画的・組織的で効果的な育成・強化
- 国民スポーツ大会では、全高知チームの競技の入賞率は、全体の約6割を占めており、入賞種目数は、安定的に30種目を超え、着実に成果は出ているが、各競技団体の特性に応じた育成・強化の見直しが必要
- また、新たに入賞し始めている競技には、重点強化が必要
- 障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の発掘・育成

(2) スポーツ医学の活用

【事業概要】

スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医学の見地から様々なサポートを実施する
（参考資料1 p.6 参照）

【R7年度末の目標値】

- ① スポーツ医学を組織的に活用している競技団体数 → **26競技団体**
- ② スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 → **200人以上**
- ③ 高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数 → **30人**

【R7.9末実績（達成度*）】

- ① **21競技団体 (B)**
- ② **76人 (A)**
- ③ **20人 (A)**

【見えてきた課題】

- 年間計画を作成して計画的にSSCを活用する競技団体のさらなる増加
- より効果的な活用に向けての支援
- マンパワー不足
- S S C 活用に係る効果の周知
- 障害のある方の利用のさらなる増加

(3) アスリートのキャリア支援

【事業概要】

高知県アスリーキャリア支援センター（無料職業紹介所）の運用を通じて、有望なアスリートや指導者の県内企業への就職支援を実施する
（参考資料1 p.5 参照）

【R7年度末の目標値】

- ① アスリートキャリア支援センターへの登録企業数 → **5企業**
- ② アスリートや指導者のマッチング成立数 → **2件**

【R7.9末実績（達成度*）】

- ① **1企業 (D)**
- ② **0件 (D) ※マッチング数4件**

<参考>

R7.7月に高知県アスリートキャリア支援センターに登録した企業の女子硬式野球部設立に向けた支援を実施
R7.10月に元阪神タイガース監督の矢野氏がGM（ゼネラルマネージャー）に就任

【見えてきた課題】

- アスリートキャリア支援センターへの登録企業数が伸び悩んでいる
- 登録企業の掘り起こしが必要

3 令和8年度の取組強化に向けた方向性

(1) 競技力向上に向けた強化策（参考資料2 p.6・7参照）

- 積極的に県外遠征を実施している競技団体が好成績を収めていることから、各競技団体における県外遠征を重視した組織的・計画的な強化活動の推進
- 近年の国スポ等の成績を分析し、各競技団体ごとの育成・強化活動の計画の見直し
- 障害者がスポーツに親しめる環境づくり（再掲）
 - ・身近な地域におけるスポーツ機会の拡充
 - ・県内大学と、地域の学校や障害者団体等と連携したインクルーシブスポーツ活動の拡大
 - ・特別支援学校と連携した地域における障害者スポーツの拠点づくり
 - ・県障害者スポーツ大会での有望選手の発掘及び特別支援学校等と連携した選手の育成

(2) スポーツ医学の活用（参考資料2 p.8参照）

- 活用できていない競技団体に競技力向上の効果を丁寧に説明し、医学サポートの積極的な活用を促進
- 現場に出向いて指導助言を行う出張サポートのさらなる拡充
- スポーツ科学センターの体制の強化
- 具体的な年間計画案をS S Cから提示したうえで、指導やサポートを実施
- 障害のある方への活用促進

(3) アスリートや指導者のキャリア支援（参考資料2 p.9参照）

- 有望なアスリートや指導者と県内企業のマッチングのさらなる推進
 - ・高知県アスリートキャリア支援センターの仕組みを県内企業や競技団体に広く周知
 - ・関係団体との連携による登録企業の掘り起こしの強化
 - ・企業の人材不足や指導者不足等の課題解決と競技力の向上につながる

国民スポーツ(体育)大会 過去4大会《入賞関係》

	第77回	特 別	第78回	第79回	備 考
総 合 成 績	46位	44位	38位	46位	
総 合 得 点	673	672.5	782.5	670	
参 加 得 点	390	390	390	390	
競 技 得 点	283	282.5	392.5	280	
入賞競技数	13	12	11	14	
入賞種別数	28	26	27	31	
入賞種目数	41	37	48	47	
個 人 競 技	27	32	35	37	
4人以下の競技	11	3	9	9	
5人～7以下の競技	2	0	1	1	
8人以上の競技	1	2	3	0	
1 位	2	4	7	6	第78回高等学校野球1位
2 位	5	2	7	9	特別ゴルフ個人2位
3 位	6	7	10	2	第77回相撲個人3位
4 位	5	3	4	2	
5 位	10	13	6	9	
6 位	4	5	5	4	第77・78・79回ゴルフ個人6位
7 位	8	1	4	9	
8 位	1	2	5	6	

1 第3期高知県スポーツ推進計画（R5～R9）の取組状況（令和7年度9月末時点）

項目	R9 目標	設定当初 (R4)	R5			R6			R7			R8			R9			指標	進捗状況の基準
			目標	実績	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績 (R7.1～9)	達成度	目標	実績	達成度	目標	実績	達成度		
スポーツによる県外からの入込客数	12万人	53,161人	63,000人	86,094人	S	7万人	101,309人	S	9万人	45,764人	D	10.5万人	-	-	12万人	-	-	S	数値目標の達成率 110%以上
							[R6.1～9] 51,087人 ①対目標進捗率73.0%			[R7.1～9] 45,764人 ②対目標進捗率50.8%	[R7.1～9] 対前年達成率 ②/① =69.6%							A	100%以上 110%未満
																		B	85%以上 100%未満
																		C	70%以上 85%未満
																		D	70%未満
																		-	達成度の判断 が困難なもの

2 R7のKPI（9万人）達成に向けての主な取組

(1)プロ・アマチュアスポーツの誘致	(2)地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進	(3)地元プロチームとの連携	(4)スポーツを通じたインバウンドの誘致
<p>【事業概要】 プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる</p> <p>【R7.9末実績】 ①プロスポーツ [R7.1～3] ・国内外プロ野球チーム春季キャンプ（3チーム） ・国内プロサッカーチーム春季キャンプ（5チーム） [R7.4～9] ・広島サンダースによるバレー教室 ・国内プロ野球チーム秋季キャンプ（3チーム：11月予定） ②アマチュアスポーツ [R7.4～9] ・全日本サーフィン選手権大会 ・龍馬旗争奪西日本小学生野球大会</p> <p>【見えてきた課題】 ○若者の関心の高いバレーボールやバスケットボールといった屋内競技のプロ・トップチームを見る機会が少ない。</p>	<p>【事業概要】 地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる</p> <p>【R7.9末実績】 ①スポーツ大会の開催支援 [R7.4～9] ・CWO2025大会における広報・周知等の支援（県SNS、HP等） ②サイクルツーリズム [R7.1～3] ・サイクルオアシスの整備（2箇所） [R7.4～9] ・サイクルオアシスの整備（1箇所） ③高知龍馬マラソン [R7.1～3] ・龍馬マラソン2025大会開催（フルマラソンエントリー：10,555人） [R7.4～9] ・令和7年度第1回総会開催 ・参加賞Tシャツデザイン募集開始 ・龍馬マラソン2026大会募集開始 ・ランニングセミナー開催（2回） ・ボランティア募集開始</p> <p>【見えてきた課題】 ○県内サイクリストの動向やニーズの把握が十分ではない。 ○高知龍馬マラソンの安定的な参加者確保に係る対策の強化が必要。</p>	<p>【事業概要】 J3参入した高知ユナイテッドSCや高知ファイティングドッグスと連携し、ホーム戦の観客増や観光PR等に取り組み、地域経済の活性化をはかる</p> <p>【R7.9末実績】 ①高知ファイティングドッグス [R7.4～9] ・阪神タイガースとの交流試合開催（1回） ・県民会議DAY開催（1回） ・ホーム戦での観光PR（26回） ・ピジター戦等での観光PR（16回） ②高知ユナイテッドSC [R7.1～3] ・ホーム戦での観光PR（3回） ・アウェイ戦での観光PR（1回） [R7.4～9] ・ホーム戦での観光PR（7回） ・アウェイ戦での観光PR（9回） ・クラウドファンディング型ふるさと納税（4/25～7/23） ・高知県冠試合の開催（9/14）</p> <p>【見えてきた課題】 ○高知ファイティングドッグス及び高知ユナイテッドSCのホーム戦観戦者数獲得に関し、更なる対策が必要。</p>	<p>【事業概要】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受入により、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる</p> <p>【R7.9末実績】 ①合宿や大会の誘致 [R7.4～9] ・スロバキア陸上チームの受入れ（9/1～9/10、14名） ②ゴルフ、サイクリング、マラソン大会 [R7.1～3] ・龍馬マラソン2025大会開催（海外エントリー：84人） [R7.4～9] ・外国語対応の観光情報 Webサイト「VISIT KOCHI JAPAN」からの導線確保によるイベント等の発信 ・サイクリングを軸としたインバウンド向け旅行商品の造成 ・2026台南古都国際ハーフマラソン大会と龍馬マラソン2026大会のランナー相互招待決定（2名）</p> <p>【見えてきた課題】 ○スポーツツーリズムに関するインバウンド向けの的確な情報発信が十分ではない。</p>

3 令和8年度の取組強化に向けた方向性

- （参考資料2 P.10参照）
- （1）プロ・アマチュアスポーツの誘致
 - 新 ○新県民体育館の整備を見据え、若年層の誘客促進につながる屋内競技のプロスポーツ大会等の誘致を推進
 - 新 ○県内プロスポーツの支援やプロ・アマスポーツ合宿の受入等の拡大に向けた環境整備を推進
 - （2）地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進
 - 新 ○県内サイクリストの動向等を定量的に把握し、県内のサイクルツーリズム推進に向けた取組を強化
 - 高知龍馬マラソンあり方検討会での協議を基に、中長期的な施策の検討
 - （3）地元プロスポーツとの連携
 - ホーム戦観戦に係る新規顧客獲得に向け、来場のきっかけとなる取組を強化。
 - （4）スポーツを通じたインバウンドの誘致
 - 訪日旅行者が情報収集する際に多用する媒体等を活用した情報発信の強化

令和7年度 スポーツ施策の取組状況（重点施策）

○第3期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率 110%以上
A	100%以上110%未満
B	85%以上100%未満
C	70%以上 85%未満
D	70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

令和7年9月末時点

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
子どものスポーツ環境整備事業	市町村が行う子どものスポーツ環境づくりへの支援を行うとともに、複数の市町村が広域で連携する取組について、民間団体の協力や県版地域おこし協力隊の配置などにより、効果的に進める	①子どものスポーツ環境づくりについて関係者が連携して対応する体制をつくり取り組んでいる市町村数 → 34市町村 ②広域で連携した取組が展開できているエリア数 → 6エリア ③子どもの体力・運動習慣の向上 → 小中学生の男女とも全国平均を上回る	① 24市町村 ② 4エリア ③ 小中学生の男女とも全国平均を上回る	① 13市町村 ② 2エリア ③ 12月調査結果公表	① (S) ② (S) ③ —

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた見直しの方向性
<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援(4月～) 地域で活動できるスポーツ指導者の共有(9月～) 地域おこし協力隊(ダンス指導者)の派遣 <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域スポーツハブ促進委員会(6エリア)の開催 第1回:6月 第2回:8月・9月 第3回:2月 広域連携事業の実施 幡多エリア:幡多地域各地で開催する様々なスポーツ体験を通じて、自分に合ったスポーツを見つける取組み(全14回) 嶺北エリア:体力測定会と地域で活動のあるスポーツの体験を行うイベントを通じて、スポーツを始めるきっかけづくりを行う取組(2回) <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 <ul style="list-style-type: none"> 指導者向け研修会等の開催(6回) PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> ダンスの楽しさを伝える人材の養成(9月～) ダンスイベントの開催(1月) デロイトトーマツと連携したアーバンスポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> アーバンスポーツイベントの開催(1月) <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村訪問等によるヒアリング 地域のスポーツ活動への参加及び情報発信 地域におけるスポーツ指導 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援(交付決定:13市町村) <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域スポーツハブ促進委員会の開催(6エリア) 第1回:幡多5/28、安芸6/2、物部川6/4、嶺北6/5、仁淀川6/6、高幡6/11 第2回:嶺北9/4、高幡9/8、幡多9/11、物部川9/10、仁淀川9/16、安芸9/18 広域連携事業 幡多エリア: 6/14:測定会 6/21:土佐清水市(卓球) 6/29:宿毛市(レスリング) 7/12:宿毛市(ソフトボール) 7/26:四万十市(運動・リハビリ講座) 8/9:宿毛市(レスリング) 8/23:四万十市(野球) 9/27:四万十市(ソフトテニス) 嶺北エリア 9/27:4町村合同(第1回測定会) <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> 高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 <ul style="list-style-type: none"> 高知県スポーツコミッションとの定例会(毎月) よさこいブチャーズの活動支援(9月) PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 <ul style="list-style-type: none"> PERF(株)との打ち合わせ(東京:5/23) デロイトトーマツと連携したアーバンスポーツの推進 <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の募集(4月～) 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たなスポーツ関連予算の確保が難しい市町村の取組の充実 県内の小学5・6年生を対象に実施した「部活動改革に関するアンケート調査」では、スポーツ活動等を行っていない理由として、希望する活動がないためと回答した割合が23.6%あり、身近な場所でやりたいスポーツができる場づくりが必要 気温の上昇に伴い、特に夏場の運動・スポーツ機会を確保する対策が必要 <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 広域的な取組を拡充させるためには、地域で広域的な活動を推進する人材の確保が必要 <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業に関わる関係者や企業を増やし、取組の充実を図ることが必要 <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 問い合わせや応募が少ないので、募集周知の強化が必要 	<p>(1)市町村の取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金の活用促進 部活動の地域展開のさらなる促進による地域での受け皿づくり <p>(2)広域で連携する取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 気軽に始めやすく、室内でも活動できるダンスが指導できる地域おこし協力隊の活用 <p>(3)民間活力による効果的な活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学生の活用 県と包括協定を締結している企業への協力依頼 <p>(4)県版地域おこし協力隊配置による活動推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住フェア等での募集周知 	<p>○子どものスポーツ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 国が行う部活動の地域展開施策と連動した取組の検討 市町村が行う地域での部活動の受け皿づくりへの支援の充実 <p>○地域おこし協力隊の配置や地域クラブとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村域を超えた広域事業を推進する地域おこし協力隊の配置 配置した地域おこし協力隊による日常的なスポーツ活動の拡大 <p>○若者の関心が高い新たなスポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みる」スポーツへの参加促進 アーバンスポーツの競技団体などと連携強化 気軽に始めやすいダンスを活用した取組の充実 30代40代女性のニーズに応じたスポーツ機会の提供

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
高知県パスウェイシステム事業 (マッチングプログラム)	スポーツの楽しさを知り、スポーツに親しむ子どもを増やすため、親子で楽しむ運動プログラムや自分の運動特性を知ることができる多様な種目の体験会などを県内各地で提供する	マッチングプログラムの参加者数 →毎年、前年比10%増のR5からの 累計9,500人 (R4時点: 1,420人)	2,290人 (R7年度) 5,170人 (累計)	316人 (R7.6月末時点) 4,674人 (累計)	(S)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)マッチングプログラム I-1:「あそびバ！」 【目的】 親子で参加する遊びを通じた運動プログラム及び保護者に対して運動に関する知識や情報を提供する 【対象】幼児(4歳)から小学3年生 【回数】3回(東部・中部・西部) 【定員】東部・西部50組100名程度、中部70組140名程度</p> <p>I-2:「遊びの広場」 【目的】 気軽に参加でき、楽しく体を動かすことができる運動プログラム 【対象】幼児(4歳)から小学6年生 【回数】6回(東部・中部・西部・その他県内各地3回) 【定員】なし</p> <p>II:「キッズスポーツ体験会」 【目的】 自分に合う競技を見つけることができるきっかけづくりを目的とした多様な競技体験会の機会を提供する 【対象】 小学3年生から小学6年生 【回数】県内各地4回以上 【定員】累計240名程度</p> <p>(2)高知くろしおキッズ ※高知県パスウェイシステム事業(高知くろしおキッズ)のページに記載</p>	<p>(1)マッチングプログラム I-1:「あそびバ！」 3/3回 (316人) I-2:「遊びの広場」 0/6回 (一人) II:「キッズスポーツ体験会」 0/4回 (一人) ※参加者累計 (316人)</p> <p>◆ I-1:「あそびバ！」 ① 6月14日(土):土佐西南大規模公園体育館(78人) ② 6月21日(土):県立青少年体育館(140人) ③ 6月22日(日):安芸市多目的体育館安芸ドーム(98人)</p> <p>◆ I-2:「遊びの広場」 ①11月9日(日):土佐西南大規模公園体育館(予定) ②11月15日(土):高知市トータ-総合運動場多目的ドーム(予定) ③11月29日(土):黒潮カントリークラブ(予定) ④11月30日(日):安芸市多目的体育館安芸ドーム(予定) ⑤未定 ⑥未定</p> <p>◆ II:「キッズスポーツ体験会」 ①11月2日(日):BMX(Godaisan "G" Park(予定)) ②11月3日(月):バスケットボール (日本トータ-総合体育館(予定)) ③11月8日(土):トランポリン(大津松岡体育館(予定)) ④12月6日(土):ライフル射撃 (春野総合運動公園射撃場(予定))</p> <p>(2)高知くろしおキッズ ※高知県パスウェイシステム事業(高知くろしおキッズ)のページに記載</p>	<p>(1)マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 各プログラムにおいてより多くの参加が得られるよう、周知の強化及び内容の充実が必要 障害のある子ども達の参加につなげることが必要 	<p>(1)マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> SNS、HPでの周知の強化を図る 特別支援学校への周知を行う 開催時期の分散化を行う 	<p>○各プログラムごとの実施計画を早期にまとめ、開催案内を効果的に行う</p>

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
スポーツ指導者の育成及びマッチング ※障害者スポーツに関する取組は「障害者がスポーツに親しめる環境づくり」に記載	有資格のスポーツ指導者の養成やスポーツ指導者をマッチングする取組などにより、地域でスポーツを支援する人材を育成・確保する	①高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 →200人以上/毎年 ②有資格指導者の数：R4から10%増 a:日本スポーツ協会公認指導者資格 :1,419人(R4)→1,560人 b:日本パラスポーツ協会指導員資格 :207人(R4)→227人 ③全高知チームにおける実践研修の実施 →全ての全高知チームで実践研修が行われている	①200人以上/年 ②a:1,503人 ②b:219人 ③15競技団体	①76人 ②a:10月公表 ②b:3月公表 ③4競技団体	①(A) ②a:(-) ②b:(-) ③(A)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
(1)スポーツ指導者育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・市町村と連携した指導者の発掘 促進委員会での事業提案(5月・6月) 競技経験者向けの実技研修(2エリア:9月～) ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成【再掲】 指導者向け研修会等の開催(6回) ・PERF(株)と連携したダンスを活用した取組【再掲】 ダンスの楽しさを伝える人材の養成(9月～) ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会(8月～) ・高知県スポーツ指導者講習会(6月～) ・パラスポーツ指導員養成講習会(初級)の開催(9月) ・パラスポーツ指導員養成講習会(中級・上級)への派遣 ・大阪体育大学グッドコーチ養成セミナーへの派遣(10月) ③指導者のマッチング ・スポーツ団体や市町村等の依頼に応じて指導者を紹介(随時)	(1)スポーツ指導者育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・市町村と連携した指導者の発掘 促進委員会での事業提案(5月・6月) 事業化の検討(安芸地区)(9/18) ・高知県スポーツコミッションと連携した指導者養成 高知県スポーツコミッションとの定例会(毎月) ・PERF(株)と連携したダンスを活用した取組 PERF(株)との打ち合わせ(東京:5/23) ②指導者の育成 ・全高知チームのトップコーチから学ぶ実践研修(随時) ※4競技が実施(6月末) ・日本スポーツ協会公認指導者養成講習会(8月～12月)(予定) (9/6～9/7) ※30名申し込み (11/7～11/9)(予定) (11/22～11/24)(予定) (1/10～1/17)(予定) ・高知県スポーツ指導者講習会(6/1)※受講者:103名 (10/26)(予定) (1/25)(予定)	(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・地域に指導者がおらず継続的に実施する新たなスポーツ活動が創出されにくい ・子どもが活動できる時間帯の指導者を確保するためには、大学や地域の企業などの協力が必要 ・県内大学生に実施した調査で、子どもへのスポーツ指導に興味のある大学生が多いことから、大学生を活用する仕組みが必要 ②指導者の育成 ・各種研修により多くの参加が得られるようにすることが必要	(1)スポーツ指導者の育成及びマッチング ①指導者の掘り起こし ・指導経験の無い競技経験者などが参加できる研修などの充実 ・高知県スポーツサミット参加校と連携した取り組みの検討 ②指導者の育成 ・事前周知を徹底する (2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・県ホームページなどでの活動紹介	○新たな人材の発掘 ・市町村や企業等と連携した、保護者や競技団体に登録していない地域の人材(競技経験者等)を対象とした指導者研修会の開催 ・大学生を対象とした子どもへの指導に関する研修会の開催
(2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・研修会の開催 (初任者研修会(7月)、県研修会(12月)) ・各地区が行う研修会等への支援(随時)	(2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・高知県スポーツ推進委員連絡協議会総会(5/21) ・高知県スポーツ推進委員連絡協議会初任者研修会(7/27) 実技:ピククルボール	(2)スポーツ推進委員の活動の活性化 ・新たなスポーツ推進委員の確保や活動の充実を図るためには、スポーツ推進委員の活動を知ってもらう必要がある。		

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱① スポーツ参加の拡大】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
障害者スポーツ推進事業	障害者が身近な地域でスポーツに親しめる環境づくりや、障害者のスポーツ活動を支援する体制の整備、障害者のスポーツ大会の開催などにより、障害者のスポーツ参加の拡大を図る	①障害者がスポーツ活動ができる団体数 → 37団体 ②障害者スポーツセンターと連携し地域の活動支援を行う体制ができていないエリアの数 → 6エリア ③発掘の取組により中央競技団体に登録した選手数 → 25人 ④中央競技団体への登録者数 → 220人 ⑤誘致した大会数（R5からの累積数） → 5 ⑥公認パラスポーツ指導員有資格者数 → 227人	① 33団体 ② 4エリア ③ 15人 ④ 210人 ⑤ 4 ⑥ 219人	① 31団体 ② 3エリア ③ 0 ④ 年度末に集計 ⑤ 4 ⑥ 年度末に集計	① (B) ② (C) ③ (D) ④ (-) ⑤ (A) ⑥ (-)

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取り組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた見直しの方向性
<p>(1)障害者スポーツの活動支援 <県立障害者スポーツセンターを核とした取組> ①地域のスポーツ活動と障害当事者のマッチング ・総合型地域SC スクラム(土佐清水市)との連携(7月) ・四万十市スポーツ協会との連携(7月) ②パラスポーツ指導員の養成 ・パラスポーツ指導員養成講習会(初級)の開催(9月) ・パラスポーツ指導員養成講習会(中級・上級)への派遣 ③全国障害者スポーツ大会 ・中四国ブロック大会への支援(4月～6月) ・全国障害者スポーツ大会への派遣(10月/滋賀県) ④高知県障害者スポーツ大会 ・大会の開催(5月、6月、10月)</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ①障害者の活動の受け皿づくり ・総合型地域SC スクラム(土佐清水市)との連携(7月)【再掲】 ・四万十市スポーツ協会との連携(7月)【再掲】 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 大阪体育大学や県内大学と連携した津野町での普及(9月) ・パラリンピアン等が参加するスポーツイベントの開催(11月) ・インクルーシブなダンスイベントの開催(1月) ③市町村が行う障害児のスポーツ活動の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援 ④障害者スポーツ大会や合宿の誘致 ・競技団体等と連携した大会・合宿の誘致活動</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①有望選手の発掘・育成 ・特別支援学校と連携した測定会の開催(10月) ②全国や世界を目指す強化活動支援 ・特別強化選手や強化助成選手の活動への支援</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 <県立障害者スポーツセンターを核とした取組> ②パラスポーツ指導員の養成 ・パラスポーツ指導員養成講習会(初級)の開催(9/6、7、14、15) ・パラスポーツ指導員養成講習会への派遣(中級)前期:8/27～31(上級)前期:7/12～15 ③全国障害者スポーツ大会 ・中四国ブロック大会への支援(4団体) ・全国障害者スポーツ大会への派遣選手選考会(6/10) ・強化練習の実施(8/31、9/6、28) ④高知県障害者スポーツ大会 ・大会の開催(申込者数600人)</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 大阪体育大学や津野町との協議(5月) 津野町での実施(9/4、9/5) ・パラリンピアン等が参加するスポーツイベントの開催 パラリンピアンとの調整(5月) オリンピアンとの調整(6月) ・インクルーシブなダンスイベントの開催 先進事例がある関係者との意見交換(5月) ③市町村が行う障害児のスポーツ活動の充実 ・子どものスポーツ環境整備事業費補助金による財政支援(1件) ④障害者スポーツ大会や合宿の誘致 ・競技団体等と連携した大会・合宿の誘致活動 車いすラグビー選手権大会(高知市:7/5、6)</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①有望選手の発掘・育成 ・関係者との連携協議(6/16)</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 <県立障害者スポーツセンターを核とした取組> ②パラスポーツ指導員の養成 ・受講者数が減少している。 R6:11人▶R7:8人 ③全国障害者スポーツ大会 ・団体種目はここ数年ブロック予選が突破できていない ④高知県障害者スポーツ大会 ・高知県障害者スポーツ大会の参加者が減少傾向にある。</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域での普及 地域地域で障害者のスポーツ活動を支援する体制の強化が必要</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①有望選手の発掘・育成 ・発掘後に継続して選手の活動をサポートする体制づくりが必要</p>	<p>(1)障害者スポーツの活動支援 <県立障害者スポーツセンターを核とした取組> ②パラスポーツ指導員の養成 ・パラスポーツ指導員の活躍機会を増やし、活動を周知していく。 ③全国障害者スポーツ大会 ・団体種目チームの活動の充実に向け新たな選手確保への支援を検討する ④高知県障害者スポーツ大会 ・小学生の陸上測定会を新たに同時開催するなど、インクルーシブなスポーツ大会の開催を検討する</p> <p>(2)身近な場所におけるスポーツ機会の拡充 ②インクルーシブなスポーツ活動の推進 ・地域で障害者スポーツに関わる人や団体を増やしていくため、スポーツ交流会などを継続的に実施していく。</p> <p>(3)全国や世界を目指す選手の発掘・育成 ①有望選手の発掘・育成 ・先進県のヒアリングによる仕組みを検討する</p>	<p>○ 県立障害者スポーツセンターの機能強化 ・各地域における障害者スポーツの拠点づくり ・県内大学生と、地域の学校や障害者団体等と連携したインクルーシブなスポーツ活動の拡大 ・特別支援学校と連携した地域における障害者スポーツの拠点づくり ・県障害者スポーツ大会での有望選手の発掘及び特別支援学校や競技団体等と連携した選手の育成</p>

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
競技力向上に向けた強化事業	競技団体が行う系統的かつ計画的な選手の育成・強化活動を支援するとともに、スポーツ医科学面からのサポートを行うことで、各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実や障害者の強化活動の充実を図り、本県の競技力向上につなげる	①全国中学校体育大会の入賞競技数 → 9競技 ②全国高等学校総合体育大会の入賞競技数 → 15競技 ③スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 → 30競技団体 ④障害者スポーツの発掘事業で選抜する選手数 → 25人	① 7競技 ② 13競技 ③ 26競技団体 ④ 10人	① 5競技 ② 9競技 ③ 21競技団体 ④ 年度末に集計	① C ② D ③ (B) ④ —

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取り組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた見直しの方向性
<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> RPDCA（進捗管理シート）による各競技の実状に応じた、育成・強化（全競技） 全高知チームによる重点強化（15競技） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>水泳、陸上、サッカー、柔道、剣道、ラグビー、レスリング、ソフトボール、卓球、ライフル射撃、バドミントン、カヌー、バスケットボール、ソフトテニス、バレーボール</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化選手を認定した重点強化 国民スポーツ大会四国ブロック大会への派遣 国民スポーツ大会への派遣 </div> <p>(2)競技団体等における適切な組織運営の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技団体やスポーツ少年団における組織運営への支援（通年） コンプライアンスの遵守 ガバナンスコードに基づく運営 ※ガバナンスコード：スポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すもの <p>(3)スポーツ医科学の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※スポーツ医科学の活用のページに記載 <p>(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援</p> <ol style="list-style-type: none"> 有望選手の発掘・育成 <ul style="list-style-type: none"> 日本パラ陸上競技連盟との連携による、パラアスリート発掘・育成に係る大会・記録会の開催 全国や世界を目指す強化活動支援 <ul style="list-style-type: none"> 特別強化選手や強化助成選手の活動への支援 <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県アスリート等無料職業相談所の運用 アスリート等就職支援バンクへの登録 キャリア支援専用WEBサイトの運用 <p>(6)デフリンピックの機運醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県関係者の情報発信（広報物の作成・掲示・配布(チラシ・ポスター・横断幕)） キャラバンカー巡回の支援 壮行会やパブリックビューイングの協力・実施 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> RPDCAシート初期分提出（4月・全40競技団体） 全高知チームによる強化練習（4月～） 国民スポーツ大会正式競技における基本的な強化（4月～） 特別強化選手の認定：10名 国民スポーツ大会四国ブロック大会への派遣（6～8月） 国民スポーツ大会への派遣（滋賀県）（9～10月） *総合成績：一位（R6:38位 → R7:46位） *獲得得点：一点（R6:782.5点 → R7:670点） <p>(2)競技団体等における適切な組織運営の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ団体に対してガバナンスコードについて説明(4月～5月) <p>(3)スポーツ医科学の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※スポーツ医科学の活用のページに記載 <p>(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の育成・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別強化指定選手の選定（S指定：5名、A指定：3名） ○県内で活動する団体・個人に対する強化費の助成（4月～）（団体：5団体、個人：15人） <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア支援専用WEBサイトのオープン 高知県アスリートキャリア支援センター（無料職業紹介所）の運営 アスリートや指導者、企業に対する支援センターへの登録依頼の実施(5月～) <p>(6)デフリンピックの機運醸成</p> <p><代表内定者（5/15発表）></p> <ul style="list-style-type: none"> ○中西椋：三段跳、走幅跳 ○岡田泰尚：男子4×400m R、混合4×400m R <p><機運醸成の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・壮行会：8月30日(土) ・応援イベント開催支援：9月27日(土) ・広報物の作成・掲示・配布（チラシ・ポスター・横断幕） 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技力の全体的な底上げに向けて、競技の特性に応じた効果的な強化活動を行うことが必要 <p>(4)障害者スポーツにおける全国や世界を目指す選手の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 発掘後に継続して選手をサポートする環境づくりが必要 <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> アスリートキャリア支援センターへの登録企業の掘り起こしの強化が必要 	<p>(1)競技の特性に応じた計画的・組織的な育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 県外遠征やスポーツ医科学サポートの活用を重視する等、競技の特性に応じた効果的な育成・強化活動を行う ・近年の国スポ等の成績を分析し、各競技団体ごとの育成・強化活動の計画の見直しを行う ・団体種目の強化方法を検討する <p>(4)全国や世界を目指す選手の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の実情に応じて、競技団体や地域スポーツクラブ等に協力を求め、継続的に活動・支援ができる体制の構築 <p>(5)アスリートや指導者のキャリア支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリートキャリア支援センターへの登録企業数が伸び悩んでいる ・登録企業の掘り起こしに、新たな取組が必要 	<p>(1)積極的に県外遠征を実施している競技団体が好成績を収めていることから、各競技団体における県外遠征を重視した組織的・計画的な強化活動の推進</p> <p>(4)障害者の競技スポーツ活動を支援する体制の強化</p> <p>(5)高知県アスリートキャリア支援センターの仕組みを県内企業や競技団体に広く周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携による登録企業の掘り起こし ・有望なアスリートや指導者と県内企業等とのマッチング支援

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績(R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
スポーツ医科学の活用	スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習・トレーニングが年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを実施する	①スポーツ医科学を組織的に活用している競技団体数 → 30競技団体 ②高知県スポーツ科学センターによる研修会の参加者数 → 200人以上/毎年 ③高知県スポーツ科学センターと連携する外部スタッフ数 → 35人	① 26競技団体 ② 200人以上/年 ③ 30人	① 21競技団体 ② 76人 ③ 20人	① (B) ② (A) ③ (A)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①SSC活用強化策年間計画の作成及び進捗管理 ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施 ③体力測定の実施 ④各種サポートの実施 (コンディショニング、栄養、メンタル、映像) <p>(2)研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①競技団体指導者・医科学コーディネーター等研修(1回) ②地域の指導者やスポーツ拠点のスタッフへの研修(4回) ③SSCサポートスタッフ研修(10回) <p>(3)研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ホームページによるスポーツ医科学情報(動画を含む)の発信 ②ハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)ネットワーク連携機関(体力測定)によるHPSCとの連携 ※HPSC 国立スポーツ科学センターとナショナルトレーニングセンターが持つスポーツ医・科学、情報等による研究、支援及び高度な科学的トレーニング環境を提供する組織 <p>(4)高知県スポーツ科学センター推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業改善の提案及び助言、管理運営の状況を適切に評価 ②年間2回の実施(7月、3月) 	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①R7強化策活用競技団体：23競技団体(28競技種別)・年間計画作成完了(3/26) ②SSC活用強化策利用競技団体等へのヒアリングの実施(4月～) ③体力測定の実施(体力測定合計946人) 【月別利用人数】 4月(129人) 5月(211人) 6月(132人)7月(215人) 8月(150人) 9月(109人) 【測定別利用人数】 一般体力測定(117人) 専門体力測定(829人) ④各種サポートの実施(サポート合計3,139人、524回) 【月別利用人数】 4月(504人) 5月(510人) 6月(436人)7月(376人) 8月(654人) 9月(659人) 【サポート種別利用人数】 コンディショニング 2,539人(466回) 栄養 225人(20回) メンタル 335人(33回) 映像 40人(5回) <p>(2)研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ③SSCサポートスタッフ研修(計：76人) 5月(27人) 6月(13人) 7月(11人) 8月(18人) 9月(7人) <p>(3)研究・情報活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Instagramを活用して広報活動を実施(4月～) ②SSC利用者に対してQRコードを活用したアンケートの実施(4月～) ③SSCの測定を活用した高知県スポーツドクター協議会所属医師との研究連携 <p>(4)高知県スポーツ科学センター推進協議会 7/15実施</p>	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSCを組織的に活用する競技団体が増え、全国大会や国際大会で入賞する選手は着実に増加しているが、年間計画を作成して計画的にSSCを活用する競技団体をさらに増やすことが必要 ・活用する競技団体において、利用の頻度やサポート内容の増加が図られ、より効果的な活用ができるよう支援することが必要 <p>(2)研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修に、より多くの参加が得られるようにすることが必要 	<p>(1)パフォーマンス向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技力向上の効果を丁寧に説明し、積極的な活用を促す ・現場に出向いての指導助言を行う出張サポートなど、利用しやすい運用を行う ・具体的な年間計画案をSSCから提示したうえで、指導やサポート等を行う <p>(2)研修・支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研修の実施計画を早期にまとめ、開催案内を効果的に行う 	<p>(1)活用できていない競技団体に競技力向上の効果を丁寧に説明し、医科学サポートの積極的な活用の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場に出向いて指導助言を行う出張サポートのさらなる拡充 ・スポーツ科学センターのさらなる運用体制の強化

重点事業の進捗状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱② 競技力の向上】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
高知県パスウェイシステム事業 (高知くろしおキッズ)	県内の運動能力に優れた小学生を発掘し、さらに運動能力を高めるトレーニングや競技プログラムを実施するなど、将来有望な選手を発掘・育成し、県内の競技団体につなげる	高知くろしおキッズに応募する子どもの数 →200人	167人	一人	(一)

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取り組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた見直しの方向性
<p>(1)マッチングプログラム ※高知県パスウェイシステム事業(マッチングプログラム)のページに記載</p> <p>(2)高知くろしおキッズ R7在籍者数: 4年生28名 5年生28名 6年生25名 計81名</p> <p>◆育成プログラム ①トレーニングプログラム(4回) ②競技プログラム(15回程度) ③知的プログラム(2回以上) ④合宿プログラム(全学年1回)(6年生のみ1回) ⑤スペシャルプログラム(1回)</p> <p>◆特別プログラム ①四国交流プログラム(5年生のみ) ※R7は愛媛県で実施予定</p> <p>◆ちゃれんじ選考会 ①ちゃれんじ1(3回) ②ちゃれんじ2(2回)</p> <p>◆その他のプログラム ①認定式(4/27) ②修了式(3/8) ③保護者プログラム ④体力測定(7/26、27 8/2、3)</p> <p>◆その他の取り組み ①広報活動 ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用) ②育成プログラムの充実を図る取組 ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供 ・プログラム検討会の実施 ・現キッズ、修了生、保護者へのアンケートの実施</p>	<p>(1)マッチングプログラム ※高知県パスウェイシステム事業(マッチングプログラム)のページに記載</p> <p>(2)高知くろしおキッズ ◆育成プログラム ①トレーニングプログラム(2/4回) ・ダンストレーニング(4/27) ・トレーニング(6/29) ②競技プログラム ・4年生(7回)(ラグビー、飛込、スポーツライミング、ライフル射撃、セーリング、カヌー、トランポリン) ・5年生(7回)(ラグビー、ライフル射撃、スポーツライミング、飛込、セーリング、トランポリン、カヌー) ・6年生(8回)(ライフル射撃②、ハンドボール、セーリング②、飛込、カヌー②) ③知的プログラム(1/2回) ・コンディション・知的プログラム(6/28) ④合宿プログラム ・夏期合宿全学年: 幡多青少年の家他(8/19~21) ・大阪体育大学合宿6年生(9/13~15) ⑤スペシャルプログラム ◆特別プログラム ①四国交流プログラム5年生: 愛媛県開催(10/26予定) ◆その他のプログラム ①認定式(4/27)、修了式(3/8予定) ②保護者プログラム ③体力測定(SSC)(7/26、7/27、8/2、8/3) ④選考会(1次: 12/7、14、21予定) (2次: 1/17、25予定) ◆その他の取り組み ①広報活動 ・活動内容やイベントの情報発信(SNSの活用)(週1回程度実施) ②育成プログラムの質の向上(各プログラム後実施) ・宿題トレーニング・実施プログラムの動画配信、資料提供(随時)</p>	<p><昨年度の課題> (2)高知くろしおキッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全てのキッズの能力の向上に向けて、効果的な運営やプログラム内容の充実を図ることが必要 年間を通してキッズのモチベーションを高める工夫が必要 学年が上がるにつれ自所属チームの主力となり、大会とプログラムの日程が重なり、欠席する場合がある 昨年度の一次選考会の応募方法を書類選考(各学校で実施する体力テストの結果を提出)とした結果、応募者が大幅に減少した 	<p>(2)高知くろしおキッズ</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師とプログラム内容や進行などに関する事前確認を徹底するとともに、プログラム検討会において内容の検証・検討を行う 毎回のプログラムの振り返りや活動の様子を複数のスタッフで確認しながら、キッズの意識の変化を捉えて、アプローチの仕方や方法を工夫する 大会等でプログラムを欠席した場合は、個々に出場した大会の振り返りを動画で提出する等、きめの細かい宿題プログラムを実施する 一次選考の選考方法を書類選考から、一昨年度まで実施していた体力測定に変更 	<p>○キッズの意識を高めるプログラム内容や体験プログラムの種目を見直して実施</p>

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
プロスポーツ・アマチュアスポーツの誘致	プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致を推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	1 スポーツによる県外からの入込客数：12万人 【内訳】 ① プロのキャンプ・大会：8万人 ② アマチュアスポーツ合宿：1万人 ③ スポーツ大会：3万人 2 地元プロチーム等のホーム戦の県内外からの入込客数 高知FD：1.2万人 高知USC：5万7千人（3千人×19試合）	1：9万人 【内訳】 1-①：6.0万人 1-②：0.8万人 1-③：2.2万人 2：高知FD：1万人 高知USC：5万7千人（3千人×19試合）	1：45,764人 【内訳】 1-①：22,515人 1-②：3,099人 1-③：20,921人 2：高知FD：3,405人 高知USC：1,655人	1：(D) 【内訳】 1-①：(D) 1-②：(D) 1-③：(S) 2： FD：(D) USC：(D)

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
(1) プロ・トップチームの誘致等 ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・KVCAや市町村と連携した誘致活動や受入体制の強化 ② 新規チームの誘致 ・KVCAやスポーツコミッション、競技団体等と連携した新たなチーム・種目の誘致 ③ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増に向けた委託業務 ・チームと連携した「どっぶり高知旅」のPR等 (2) アマチュアスポーツの誘致 ① 合宿・大会の誘致 ・KVCAや競技団体等と連携した既存チームの誘致 ・旅行会社（スポーツ専門）と連携した誘致 ・他部局、県外事務所と連携した誘致 ・大阪体育大学との連携協定に基づく当大学のクラブやOB・OG所属チームの誘致 ② スポーツ大会の開催支援 ・市町村等へのKVCAの助成制度の周知 ・「スポる！KOCHI」による情報発信（開催案内等） (3) その他 ・KVCAとの戦略会議（毎月） ・スポーツツーリズムによる経済効果の算出・公表	(1) プロ・トップチームの誘致等 ① 既存チーム継続に向けた誘致 ・オリックス（高知フェア開催 4/15） ・西武ライオンズ（知事トップセールス・高知フェア開催 4/30） ② 新規チームの誘致 ・男子バレーボール「広島サンダーズバレーボール教室」（6/21） ③ 高知ファイティングドッグス、高知USCとの連携 ・ホーム戦観客者増等に関する委託業務締結（4/1） ・高知ファイティングドッグス庁内販売（4/10）、庁内放送（随時） ・阪神タイガース、高知ファイティングドッグス交流試合・交流イベント（4/16） ・高知ファイティングドッグスを応援する県民会議DAY開催（5/16） ・高知ファイティングドックスホーム戦県内・県外向けSNS PR（随時） ・高知ファイティングドックスビジター戦（福岡、兵庫 ほか）で観光PR等 ・高知USC 活動支援（ふるさと納税実施等）（4月～7月） ・高知USCホーム戦県内・県外向けSNS PR（随時） ・高知USCアウェイ戦（岐阜、神奈川、静岡、香川、鳥取）で観光PR等 ・高知USCホーム戦で観光PR等（全試合） (2) アマチュアスポーツの誘致 ・合宿リピーターの確保・誘致（KVCAから過去3年に合宿助成金利用団体へメール案内）（6月） ・県外の就職支援協定大学等に案内チラシを送付（7月） ・旅行会社（スポーツ専門）訪問（6月～） ・県内スポーツ協会や就職支援協定締結大学への助成情報の案内 ※ 助成金実績（R7.4月～9月：43件（申請含む）） (3) その他 ・KVCAとの戦略会議（4月～）	(1) プロ・トップチームの誘致等 ・屋内競技におけるプロ・トップチームを見る機会が少ない ・プロキャンプ観戦者の増加に向けた受け入れ体制の充実が必要 ・スポーツ施設の老朽化への対応が必要 ・キャンプ等の受入が可能な宿泊施設の確保が必要 ・実施時期の分散化が必要 ・地元プロスポーツチームのホーム戦観客者数確保のための対策が十分でない (2) アマチュアスポーツの誘致 ・スポーツ施設の老朽化への対応が必要 ・キャンプ等の受入が可能な宿泊施設の確保が必要 ・誘致種目の多様化 ・実施時期の分散化が必要 ・施設の予約状況の可視化	(1) プロ・トップチームの誘致等 ・新県民体育館の整備を見据えたバレーボールなど屋内競技の新たなチームの誘致 ・キャンプ会場での飲食ブースの拡充や観光PRの強化（市町村、観光協会との連携強化） ・施設管理者等との改修に向けた協議の継続 ・旅館組合等との協議の継続 ・連携協定等を活用した誘致活動の実施 ・ホーム戦観戦に係る新規顧客獲得に向けた取組強化 (2) アマチュアスポーツの誘致 ・集落活動センター等を活用した中山間地域での宿泊施設の確保 ・KVCAや市町村、関係機関と連携した戦略的な誘致活動の実施 ・スポる!KOCHIや関係機関等と連携した情報発信の強化 ・県内各スポーツ施設のkintone導入による予約状況の一元管理	○屋内競技など新たなプロ・アマチュアスポーツチームの誘致 ○地元プロスポーツチームと連携したスポーツツーリズムの推進

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の達成度
地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進	地域の特色を活かしたスポーツツーリズムを推進し、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	1 スポーツによる県外からの入込客数 : 12万人	1 : 9万人	<u>1 : 45,764人</u>	<u>1 : (D)</u>
		2 「スポる! KOCHI」のセッション数 : 182,500セッション以上	2 : 255,500セッション以上	<u>2 : 84,356セッション</u>	<u>2 : (D)</u>

【P(Plan)】	【D(Do)】	【C(Check)】	【A(Action)】	次年度に向けた見直しの方向性
当初計画	これまでの取り組み状況	見えてきた課題	見えてきた課題に対する改善策	
<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KVCAや市町村と連携した開催支援（助成金、情報発信） ・「スポる! KOCHI」による情報発信 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国費を活用したサイクリングコンテンツの磨き上げ、受入れ環境整備等の実施 ・ぐるっと高知サイクリングロードのPR（展示会出展等） ・サイクルオアシス登録店の見直し、設備の拡充（サイクルスタンド、空気入れ、ノボリ設置等の見直し） ・四国4県連携（1,000kmチャレンジの推進） ・セトウチヴェロの協議会（中四国連携） ・「スポる! KOCHI」による情報発信（体験記、コース紹介等） <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全な大会運営 ・定員1万人（フルマラソン）を超えるエントリーの確保等 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、広域観光協議会への周知（4月～）（助成制度、スポる! KOCHI） <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングアイランド四国会議（5/9） ・セトウチヴェロ担当者会議in神戸（5/28） ・嶺北地域、物部川地域でのサイクリングを活用したインバウンド向けツアーの内容について調整（6月～） ・サイクルオアシスの新たな支援、再整備の内容について調整（6月～） ・サイクリングを軸としたインバウンド向け旅行商品の造成 <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり方検討会の設置（大会の魅力向上、あり方検討等）（6月～）（年3回開催予定） ・第1回高知龍馬マラソン総会（6/11） ・参加賞Tシャツデザイン募集（7/1～8/31） ・ランナー募集（8/1～10/31） ・ランニングセミナー実施（全7回のうち2回実施） ・ボランティア募集開始 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の担い手の確保 ・情報発信の強化 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インバウンドの対応に必要な受入れ環境の整備 ・県内サイクリストの状況に係る定量的な把握 ・サイクルオアシス設置施設の拡大 ・四国4県連携事業を活用したインバウンド誘致の強化 <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の過剰供給、ランナー人口減少による地方大会の参加者が減少 ・競合大会が新たに開催（かがわマラソン）が新たに開催される ・人件費や物価の高騰に対応した運営費の確保 ・持続可能性の担保（ボランティアの確保等） ・ランナー確保に向けた大会の魅力づくり 	<p>(1) 自然を活かしたスポーツツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等との連携強化 <p>(2) サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携強化 ・観光庁の補助金等の紹介 ・市町村、関係機関と連携した戦略的な推進活動の実施 ・四国4県連携事業のインバウンド誘致に向けた関係団体等とのさらなる連携 <p>(3) 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSの効果的な活用 ・県内外のスポーツイベント等にブース出展等を行い、周知を強化 ・大会ゲストを活用した情報発信を実施 ・新規協賛企業の獲得 ・新規団体へのアプローチによるボランティアの増 ・大会をより良いものとする為のあり方検討会の開催 	<p>○インバウンド向けスポーツツーリズムの情報発信強化</p>

重点事業の取組状況確認資料(令和7年度9月末時点) 【施策の柱③ スポーツを通じた活力ある県づくり】

事業名	事業概要	令和9年度末の到達目標	令和7年度末の目標値	実績 (R7.9月末時点)	9月末時点の 達成度
スポーツを通じた 国際交流	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン等で関係を構築した国等との相互交流や、国内で実施される国際大会に出場する海外チームの事前合宿の受け入れにより、地域経済の活性化やスポーツ参加の拡大、競技力の向上につなげる	海外とのスポーツ交流が継続的に行われている。	-	-	-

【P(Plan)】 当初計画	【D(Do)】 これまでの取り組み状況	【C(Check)】 見えてきた課題	【A(Action)】 見えてきた課題に対する改善策	次年度に向けた 見直しの方向性
<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流 ・シンガポールスポーツスクールへ訪問(7月)</p> <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致 ・国際大会等の関係機関からの情報収集 ・ホストタウン国への誘致活動 　<シンガポール・トンガ・オーストリア・キルギス> 　大使館への事前合宿受入れ可能施設の案内送付 　<チェコ・スロバキア> 　陸上チームの世界陸上事前合宿受入れ調整 　<オーストラリア> 　高知県ソフトボール協会との交流(8月)</p>	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流 シンガポールスポーツスクールへ訪問 ・受託事業者との契約(5/21) ・関係者との協議・調整(4月～) ・選手団(バドミントン、卓球)が訪問予定(7/20～26)</p> <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致 ・スロバキア陸上チームの受け入れ (9/1～10、14名、春野総合運動公園、)</p>	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流 ・連携協定を締結していない競技団体などの海外チームとの交流を促す取組が必要</p> <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致 ・受入体制の充実及びチームとのコミュニケーションの充実</p>	<p>(1) ホストタウン等の国等との相互交流 ・関係団体と連携強化 ・スポーツだけでなく他分野での交流促進 ・競技団体などが行う海外との相互交流を支援制度を検討する</p> <p>(2) 海外チームの事前合宿等の誘致 ・施設側との連携及びチームとのコミュニケーションの強化</p>	○スポーツを通じた国際交流の拡大に向けた支援の充実

スポーツ施策の取組強化の 方向性について (ポンチ絵)

令和7年9月末時点

現状・課題

- 子どもたちのやりたいスポーツが身近な場所でできない地域がある。
- 子どもの減少により、団体スポーツにおいて十分なチームが組めない状況や、地域スポーツを支える人材の不足などが課題となっている。
- 国では、R8年度からR13年度を部活動の「改革実行期間」に位置づけ、部活動の「地域展開が推進されるが、人材や団体の不足により十分な地域での受け皿が作れていない。

取組の方向性

- 子どもたちが身近な地域で希望するスポーツを続けられるようにするため
 - ・幼児期から運動やスポーツに親しみ、多様なスポーツを体験しながら自らの適性を見つけ、興味関心に応じてスポーツを続けられる環境づくりを推進する。
 - ・子どものスポーツ機会の拡充に向けて、市町村間の連携を促進するとともに、民間活力の活用や地域おこし協力隊の配置などにより、子どものスポーツ活動を支える人材の拡充を図る。

子どものスポーツ環境の状況

○スポーツ少年団の団数・団員数

※県スポーツ協会調べ

項目	H28	R4
団数	221	182
団員数	4,332人	3,266人

○地域における小中学生の活動環境

小・中学生とも、活動できる競技が5競技以下の市町村は全体の35.3%。また、多くの市町村において活動環境が小・中いずれかに限られている競技が見られる。

※スポーツ課調べ

○部活動や総合型地域スポーツクラブ加入状況(中学生)

○中学校の運動部活動数・部員数

※県スポーツ課調べ

項目	H28		R4	
	高知県	全国	高知県	全国
部数	68.1	69.8	49.7	54.7
文化部	10.7	9.1	29.8	27.8
地域SC	13.3	25.3	9.1	15.5
未所属	14.9	10.3	17.6	13.7

(%) ※R5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

持続可能な子どものスポーツ推進施策の全体イメージ

市町村

①市町村単位の取組の充実

地域において、**幼児期から**運動やスポーツに親しみ、**多様なスポーツを体験**しながら自らの適性を見つけ、興味関心に応じて**スポーツを続けられる場**を市町村ごとに整備する。

拡 ●子どものスポーツ環境整備推進事業費補助金による財政支援

- ・地域における①スポーツに出会う場、②スポーツを続ける場、③専門的な能力を高める場の整備に向けた取組を支援

新 市町村が行う部活動地域展開への支援

・補助先：市町村

拡 ●地域おこし協力隊による日常的なスポーツ機会の拡大

- ・親子で参加できるスポーツ機会の創出
- ・就学前施設を訪問した運動機会の提供
- ・部活動での指導

新 運動部活動の地域展開に向けた伴走支援

- ・市町村が行う地域での受け皿づくりを推進するため、指導者の掘り起こしやマッチングなどを支援

- 単一の市町村・団体等では解決が困難な課題の共有
- 促進委員として参画

【県・市町村連携】
子どものスポーツ環境を一体的に整備

- 市町村の課題等に応じた広域的な活動の提供

②広域の取組の推進

県

●県内6地域で地域の実情に応じた広域的な活動を推進

- ・構成市町村の行政職員等で構成する促進委員会を設置
- 新** 市町村域を超えた広域事業を推進する地域おこし協力隊の配置
- ・地域の実情に応じた広域連携事業の実施

6地域

〈広域連携事業の事例〉

○はたキッズ（幡多地域）

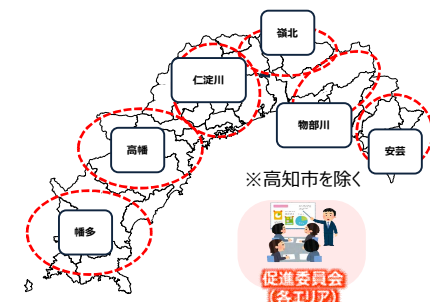
- ・複数の市町村で実施しているスポーツを体験し、自分に合ったスポーツを見つける取り組み

○AIを活用した測定会（嶺北地域）

- ・カメラの前で行う複数の動作からAIが自分に合ったスポーツを紹介してくれる測定会

○部活動外部指導者の発掘（安芸地域）

- ・保護者や競技団体に登録していない地域の人材（競技経験者等）を対象とした指導者研修会



民間団体等



- ③民間活力による効果的な活動の展開
- ④地域おこし協力隊配置による活動推進

- 市町村の取組支援や広域の取組への助言、企画・運営補助 等
- 学校や地域でのスポーツ指導の実施

目的 若者の関心が高いアーバンスポーツやeスポーツ等の取組の推進や障害の有無に関わらず参加できるスポーツ機会を拡充しスポーツの裾野を広げることで、**若者の県外流出抑制**や**スポーツを通じた地域の活性化**を図る。

現状・課題

- 若い世代のスポーツ実施率が他の年代より低く、スポーツ離れが生じている
- 中山間地域では活動できるスポーツが限定されている
- 高知市以外の市町村で障害者がスポーツできる場が少ない
- 幼少期からの運動習慣の定着や生涯にわたってスポーツに親しむためには、身近な場所で関心のあるスポーツに触れる機会を増やすことが必要
- 中山間地域でも継続的にスポーツに親しむことができる環境をつくる必要がある
- 本県出身メダリストの活躍によるスポーツ機運の高まりを、様々な取組に波及させ継続的せていくことが必要

目指す姿

子供や若者に**関心が高い新たなスポーツの「する人口」・「場」・「交流人口」**が増加する

- ・アーバンスポーツの活動の場及び愛好者が増加する
- ・全国から参加者が得られるeスポーツ大会が定着する
- ・新たなジュニア競技大会が定着し、競技人口が増加する
- ・インクルーシブなスポーツの機会及び参加者が増加する
- ・プロやトップチームを間近で見られる機会が増加する

R8の取組内容

子どもや若者の関心が高い新たなスポーツの推進

①アーバンスポーツやeスポーツの普及拡大

（高知県スポーツイベント実施支援事業費補助金の拡充）

市町村や競技団体、総合型地域スポーツクラブ等が行う**アーバンスポーツやeスポーツの体験教室やイベントなどの開催を支援**し、県内で広くアーバンスポーツやeスポーツに触れる機会を創出する

②インクルーシブダンスイベント

「What's up」の開催

国内最大のプロダンスリーグ「Dリーグ」に参戦している「チェンジラプチャーズ」をゲストに招き、**障がいのある方も無い方も参加できるインクルーシブなダンスイベントを開催する。**

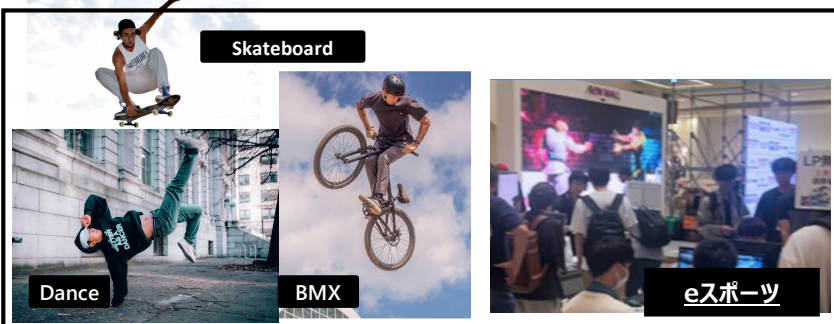
※イベントは、スケートボードやBMX、ダブルダッチなどのアーバンスポーツイベントとの同時開催予定

③オリンピックメダリストによる体験教室

及び冠大会の開催支援

競技団体を実施する、**パリ2024オリンピックのメダリスト**の冠大会及びメダリストによるスポーツ体験教室を開催し、**世界トップ選手と直接触れ合う機会を創出**する。

アーバンスポーツ・eスポーツ



■アーバンスポーツ

速さや高さを追求し、華麗な離れ業などを競う都市型スポーツ

■eスポーツ

コンピューターゲームやビデオゲームを使って対戦を行う競技

インクルーシブスポーツ



■インクルーシブダンスイベント「What's up」

- ①ダンスコンテスト（小学生部門・中高生部門・一般部門）
- ②ショーケース（ダンススタジオ、地域ダンスチーム、インクルーシブチーム）
- ③チェンジラプチャーズによるダンス披露

メダリストの冠大会(レスリング) メダリストによるスポーツ教室



R7年度に開催したオリンピックメダリストによる西日本規模の冠大会（レスリング）及びスポーツ体験教室の開催支援

背景

- 少子化や指導者不足等により、身近な場所でできるスポーツの選択肢が限られている
- 地域に複数の市町村が連携する広域連携事業を担える人材がない
- 部活動では、リズムトレーニングなど、どの競技にも共通するトレーニング講師の活用が、指導者不足を解決し、部活動の地域展開が進むことに期待できる。
- ダンスと親和性が高い「よさこい祭り」を活用した県外の若者を誘引する取組の充実が必要である
- 地域では人材不足により、担い手不足やコミュニティ活動の低下などの課題に直面している。

目的

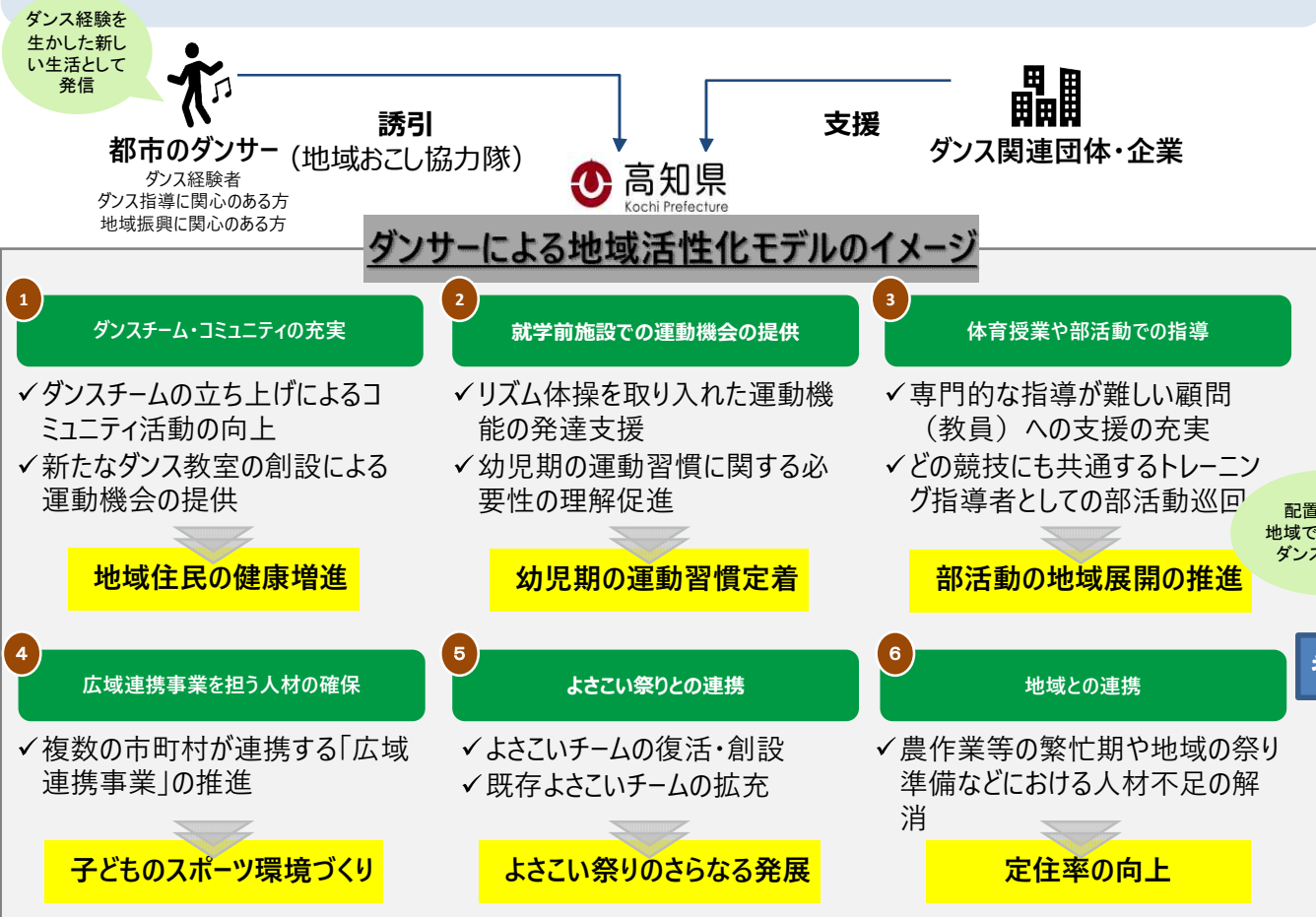
“ダンス指導に関心のある人材を地域に配置し、
ダンサーによる地域活性化モデルや
若者が地域でいきいきと暮らすモデルケースを構築する”

- 地域おこし協力隊制度を活用し、ダンス指導に関心のある人材を地域に配置し、若者が地域で自身の好きなスポーツを活かし、地域と関わりながらいきいきと暮らすモデルケースを広く発信し、さらなる若者の誘引や県内の若者の転出抑制につなげる。

取組内容

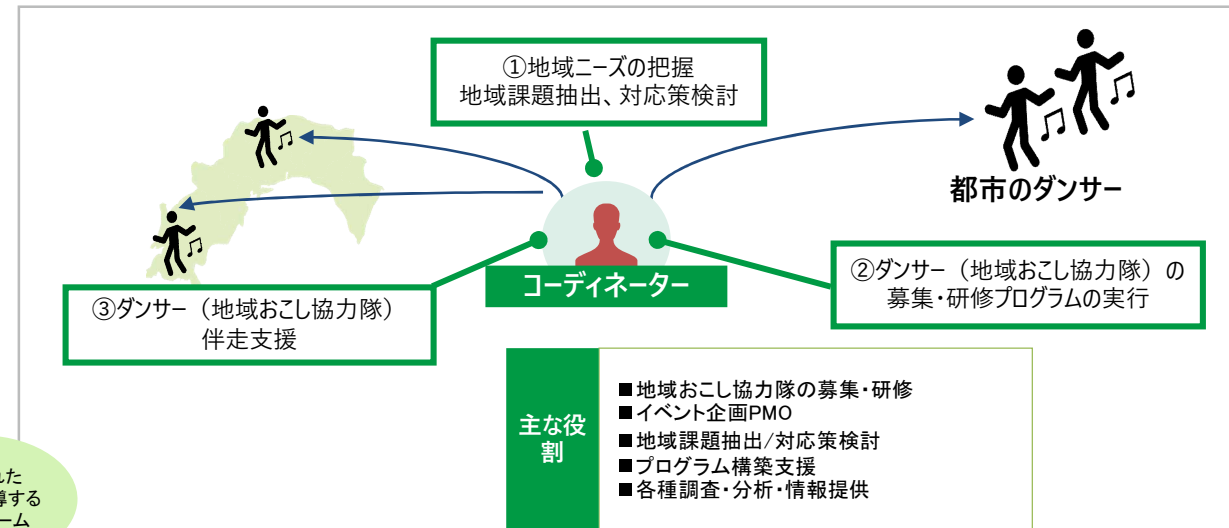
①ダンサーによる地域活性化モデルの構築

- ダンサー(地域おこし協力隊)を活用した地域活性化モデルを構築する



②地域おこし協力隊の募集・確保及び伴走支援

- 地域活性化モデルの構築を行うため、各地域の課題・ニーズを把握し、ダンサー(地域おこし協力隊)の募集から隊員への伴走支援を行う



③ダンスイベント「What's up」の開催

- 障がいの有無に関わらず参加できるダンスイベントを開催する

【イベント演目】

- ①ダンスコンテスト
- ②ショーケース (ダンススタジオ、地域ダンスチーム、インクルーシブチーム)
- ③チェンジ ラプチャーズによるダンス披露



期待される効果

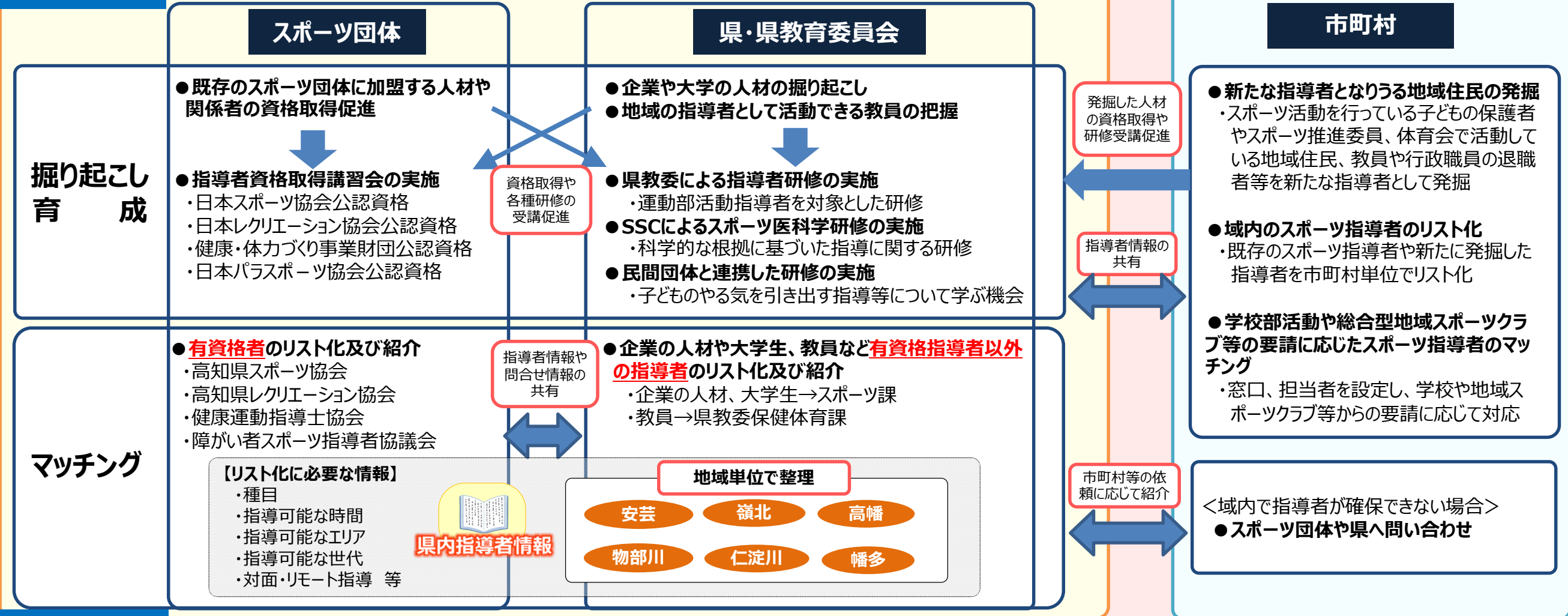
若者が地域で自身の好きなスポーツを活かし、地域と関わりながらいきいきと暮らすモデルケースとして広く県外に発信することで、さらなる若者の誘引や県内の若者の転出抑制につなげる。

地域における既存のスポーツ活動の充実や学校部活動の地域展開を含めた新たな活動の展開を見据え、高知県スポーツ協会をはじめとするスポーツ団体や県教育委員会等と連携し**安定的な指導者の確保（掘り起こし・育成・マッチング）**に向けた体制づくりを行う

【掘り起こし・育成】 地域住民や企業の職員、大学生等を**新たな指導者として発掘**するとともに、**指導者資格の取得促進及び各種研修会等の充実**を図る

【供給体制の構築】 地域の依頼に応じて**指導者のマッチング**を行うとともに、**効率的なマッチング体制の構築**に向け、指導者のリスト化や運用手法等を検討する

全体のイメージ



今後の展開

令和7年度

【掘り起こし・育成】

- 公認スポーツ指導者資格を取得・更新するための講習会の実施
- 各種研修会の充実（・SSCによるスポーツ医科学研修・ICTを活用したグッドコーチ研修等）
- 保護者や大学生など、子どもの成長をサポートする人材の拡大
 - ・子どもの成長や、適切な指導方法を学ぶ研修会の開催
 - ・スポーツ中の怪我や事故、スポーツの楽しみ方や興味・関心を伝える研修会の開催

【マッチング】

- スポーツ団体、スポーツ課、県教委が各々にスポーツ指導者リストを活用した紹介
- 一元的な指導者情報の管理及びマッチングの運用について検討
- アスリート等キャリア支援バンクの運用

令和8年度

【掘り起こし・育成】

- 市町村や競技団体と連携した新たな指導者の掘り起こし
- 公認スポーツ指導者資格を取得・更新するための講習会の実施
- **新** 新たな人材の発掘
 - ・市町村や企業等と連携した、保護者や競技団体に登録していない地域の人材（競技経験者等）を対象とした指導者研修会の拡充
 - ・大学生を対象とした子どもへの指導に関する研修会の開催

【マッチング】

- スポーツ団体、スポーツ課、県教委が各々にスポーツ指導者リストを活用した紹介
- 一元的な指導者情報の管理及びマッチングの運用について検討
- アスリート等キャリア支援バンクの運用

目指す姿

- **地域ごとのスポーツ指導者リストが整っている**（競技ごとのスポーツ指導者が確保されている）
- 地域のニーズに応じて**スポーツ指導者を紹介する仕組みが構築**されている

現状・課題

- 障害者が活動できる場が少なく、スポーツに関する情報が障害当事者や関係者に十分に届いていない
- 全国や世界を目指して活動している障害者は増加傾向にあるものの、まだ少なく、そうした活動を支援する体制も十分でない
- 障害者スポーツに関心がある者の割合は高いとは言えず、障害者のスポーツ大会等を間近で見られる機会も少ない

取組の方向性

- 障害者が**身近な地域でスポーツに親しめる機会を増やす**とともに、地域における**障害者の活動を支援する体制づくり**を進め、県内の全ての地域において障害者のスポーツ参加の拡大を図る
- 競技力向上を目指して取り組む選手の活動を支援**するとともに、将来**有望な選手を発掘・育成**し全国や世界を目指す選手の増加を図る
- 障害者スポーツの全国大会やトップチームの活動を間近で見られる機会**を増やし、障害者スポーツの理解啓発及び機運の醸成を図る



取組内容

■ 障害者スポーツの活動支援

県立障害者スポーツセンターによる、障害者のスポーツ参加への支援や指導者養成、情報の発信や理解啓発の取り組みを実施

- 障害者スポーツコーディネーターや地域のパラスポーツ指導員と連携した地域のスポーツ活動への障害者の受入拡大
- パラスポーツ指導員の養成講習会の実施
- 全国障害者スポーツ大会及び中四国ブロック大会の開催・選手団の派遣
- 障害者スポーツの情報の活用強化
 - ・スポーツ教室やイベント、大会情報の発信
 - ・スポーツ大会の結果の収集・発信、メディアへの情報提供
 - ・既存のチームや団体の活動の紹介
- 障害者スポーツの理解啓発
 - ・学校や障害者施設と連携した障害者スポーツの理解啓発の取組の実施



■ 身近な地域におけるスポーツ機会の拡充

障害者が身近な地域で安心してスポーツに参加できるようにするため、地域におけるスポーツ機会の提供や誰もが参加できるイベント等の開催

- 障害者の活動の受け皿づくり
 - ・既存スポーツ活動への障害者の受入れを促進
 - ・用具の貸出しの充実等、用具の活用促進
- 拡** **大学等と連携した障害者がスポーツ活動できる場づくり**
- 拡** **特別支援学校と連携した地域における障害者スポーツの拠点づくり**
- スポーツに出会う機会の充実
 - ・学校や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、障害者が気軽に参加できるスポーツ機会の提供
- インクルーシブなスポーツ活動の推進
 - ・インクルーシブなスポーツイベントの開催
 - ・若者の障害者スポーツへの参加拡大



■ 全国や世界を目指す選手の発掘・育成

- 全国大会以上の競技大会で入賞を目指す選手の強化活動を支援
- 優秀な競技成績を有する選手を特別強化選手として指定し、活動を支援

- 拡** ○**県障害者スポーツ大会での有望選手の発掘及び特別支援学校や競技団体等と連携した選手の育成**



■ 障害者スポーツ大会や合宿の誘致

- 高知県障害者スポーツ大会の開催
- 障害者スポーツの全国大会やトップチームの合宿の誘致



■ 障害者のスポーツ活動を支援する体制の充実

- 関係機関・団体と連携して障害者のスポーツ活動を支援する体制づくり

目的

競技団体ごとに課題を捉えた効果的な強化を徹底するとともに、国民スポーツ大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される「全高知チーム」のさらなる強化や、スポーツ医科学面からの質の高いサポートを行うことで、障害者スポーツを含めた各競技団体の組織的な育成・強化体制の充実を図り、本県の競技力を引き上げる

現状

- ・組織的な取組の強化が浸透し、系統的な指導体制が充実してきたことにより、国民スポーツ大会獲得点数の増加や国際大会等でも入賞する選手が育ってきている
- ・全国大会等において、安定して上位をねらうことができる競技団体が少なく、活動の成果が競技成績に表れていない競技団体がある
- ・スポーツ医科学面から選手や指導者をサポートする体制をさらに強化する必要がある

取り組み

競技団体の実情に応じた効果的な強化

■ 国民スポーツ大会対策強化（共通）

国民スポーツ大会正式競技（41競技）における基本的な強化

■ 特別強化選手（共通）の拡充

優秀な競技成績を収めている選手を特別強化選手に指定し、日本代表選手等を目指して、さらなるレベルアップを図る取り組みを支援

■ 全高知チーム

① 特別強化コーチ派遣

国民スポーツ大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される競技に対して、特別強化コーチを派遣するなど「全高知チーム」による重点強化を行う

② 遠征強化

全国トップレベルのチームとの対戦による成果・実力の確認

■ 全高知チーム以外

① ジュニア強化

特にジュニア層の普及・育成が必要な競技団体が行う取り組み

② 女性強化

特に女子選手のレベルアップが必要な競技団体が行う強化

③ チーム招聘

優秀なチームを招聘し、レベルアップを行う強化

④ アドバイザー招聘

優秀なコーチを招聘し高度な技術・戦術・トレーニング方法の指導に加え、組織マネジメントやネットワーク構築、情報の活用など、総合的な指導助言を行う

全高知チームによる重点強化

【全高知チーム】

競技ごとに、県内の小学生から一般までの有望選手を強化選手に指定し、年間を通して定期的に質の高い強化練習を行うチーム

■ 認定チームの見直し

- ・近年の認定チームの強化方法及びの国民スポーツ大会等の成績の分析
- ・重点的な強化の検討（チーム数も含めた見直し）
- ・全高知チームの再認定

■ 特別強化コーチによる指導・監修の徹底

- ・特別強化コーチの指導による強化練習を徹底
- ・特別強化コーチの監修による強化計画の定期的な見直しを徹底

■ 県外遠征等の質の高い練習の増加

国民スポーツ大会までの段階的な目標を達成するため、県外遠征等の質の高い練習を増加

■ 県内指導者の指導力向上

全高知チームの活動を通じた県内指導者の実践研修の充実

障害者の競技力向上支援

■ 特別強化選手支援

優秀な競技成績を収めている選手を特別強化選手に指定し、日本代表選手等を目指して、さらなるレベルアップを図る取り組みを支援

■ 競技性の高い取組への支援

障害者スポーツセンターのコーディネート機能を強化し、全国大会等を目指す選手が競技レベルを高めるために行う取組を支援

■ 指導者の育成

パラスポーツ指導員の資格取得のための講習会の実施

スポーツ医科学の活用

■ 高知県スポーツ科学センター(SSC)によるスポーツ医科学面からのサポート

- スポーツ科学センターの体制強化
- スポーツ医科学の活用に係る年間計画の作成を支援
- 多様なニーズに応える体制・連携の強化
- 現場に向かいでの出張サポートのさらなる強化

・スポーツ医科学の見地から様々なサポートの充実

【サポート内容】

- | | |
|-----------------|------------|
| ① 専門体力測定 | ④ メンタルサポート |
| ② コンディショニングサポート | ⑤ 動作分析 |
| ③ 栄養サポート | ⑥ ゲーム分析 |

拡

競技団体における組織的な活動の充実

■ 組織的・計画的な取組の推進

- ・各競技の特性に合った強化策の充実（競技者育成プログラムにおける各競技団体の組織的な育成・強化／RPDCAの徹底）
- ・各競技団体における適切なガバナンスの推進

デジタル技術の活用

■ デジタル技術の効果的な活用

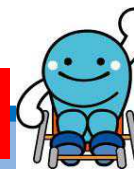
- ・デジタル技術を効果的に活用した選手の育成

拡

スポーツ施設・設備の整備

■ 計画的な整備の実施

- ・県立スポーツ施設の中長期的な在り方検討（新県民体育館の整備等）
- ・高知県スポーツ推進交付金の活用



令和7年度 競技力向上年間計画

(公財) 高知県スポーツ協会

重点的な活動

①各競技の特性に応じた実効性のある選手強化を図る。
 ②計画的な強化に取り組めるよう進捗管理(RPDCA)を徹底し、組織として継続的に選手強化を図る。また、公認スポーツ指導者を含めた指導者の資質向上を図る。

③四国ブロック大会での本県選手の活躍を情報発信する。
 ④スポーツ医学の専門スタッフや高知県スポーツ科学センター(SSC)と連携し、選手の傷害を 방지、科学的トレーニングの効果的な活用を推進する。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
主大会	少年		高校IH予選	高校四国	中学県体	中学四国								
	成年				IH 全中									
研修会				指導者研修会(1日)			国スポ会期前1回目(滋賀県) 9.6~15	国スポ会期前2回目(滋賀県) 9.21~25	国スポ本会期(滋賀県他) 9.28~10.8		指導者研修会(26日)	指導者研修会(25日)		
国 ス ポ 正 式 競 技 団 体	強化練習等	<p>R・P > D > C > A</p> <p>1 ①選手強化事業 ②講師等招聘事業 ③普及・育成(ジュニア等)事業 ④チーム招聘事業 ⑤女性強化事業 ⑥医・科学(SSC)活用事業</p> <p>2 ①選手強化事業 ②講師等招聘事業 ③普及・育成(ジュニア等)事業 ④チーム招聘事業 ⑤女性強化事業 ⑥医・科学(SSC)活用事業</p> <p>3 ①選手強化事業 ②講師等招聘事業 ③普及・育成(ジュニア等)事業 ④チーム招聘事業 ⑤女性強化事業 ⑥医・科学(SSC)活用事業</p> <p>4 ①選手強化事業 ②講師等招聘事業 ③普及・育成(ジュニア等)事業 ④チーム招聘事業 ⑤女性強化事業 ⑥医・科学(SSC)活用事業</p>												
		全高知チーム	○15競技【ソフトボール・レスリング・陸上・水泳・サッカー・剣道・ラグビー・カヌー・卓球・柔道・バドミントン・ライフル・バスケットボール・ソフトテニス・バレーボール】 ○県外遠征 ○一般強化 ○特別強化コーチ招聘											
		特別強化選手	○7競技10名【飛込2名・陸上1名・卓球1名・ライフル射撃2名・スポーツクライミング1名・カヌー(SL)1名・レスリング2名】											
		指導者養成講習実施団体	○コーチ2【高知県卓球協会】 コーチ1【高知県バレーボール協会・高知県軟式野球連盟・高知県トライアスロン連合】											
	アンチ・ドーピング	○教育動画の視聴、資料・教材の配布												
SSC活用	<p>○専門体力測定【専門機器を活用して瞬発系や持久力系などの体力測定】</p> <p>○栄養サポート【体づくりや体調管理のための栄養素の取り方などの指導・助言】</p> <p>○動作分析【映像を用いて選手の基本技術の動作を分析・指導】</p> <p>○トレーニングサポート【専門体力測定の結果等によるトレーニング指導】</p> <p>○メンタルサポート【専門指導者によるメンタルコントロールサポート】</p> <p>○ゲーム分析【チームや個人のゲーム中の動きをデータ化・映像化して分析・指導】</p>													
高知県スポーツ協会	現状把握・分析・指導・助言等	R視察・激励 強化事業や各種大会の現状把握・分析												
		R 競技団体ヒアリング												
		指導・助言 ○進捗管理シート ○補助金申請書												
		動画配信 ○6競技予定(サッカー・ソフトボール・卓球・バスケットボール・バレーボール・軟式野球・銃剣道)												
		サポート 【指導・助言・援助・情報共有】○各競技団体が行う日常的・継続的な強化活動 【助言・援助】○強化組織体制づくり												
関係機関 【連携・情報共有】○高知県観光振興スポーツ部 ○高知県スポーツ科学センター(SSC)														

本年度総括・次年度の計画

本年度総括・競技団体評価

目的・主な役割

スポーツ現場において行われる、健康増進や競技力向上に向けた技術練習、トレーニングが、年齢、体力、競技特性等に応じて、合理的かつ効率的・効果的に行われるよう、スポーツ医科学の見地から様々なサポートを行う

【主な役割】

- パフォーマンス向上支援（体力測定・各種サポート支援等（障害者アスリートを含む））
- 指導者やサポートスタッフの育成支援
- スポーツ科学の研究
- スポーツ医科学関連情報の収集・発信
- 産学官民の連携によるスポーツを支える支援体制の充実強化

課題

- スポーツ医科学の活用について、個々の選手の課題に対応するきめ細かなアプローチが必要
- 高知県スポーツ科学センターが協力を得られている関係者が限定的
- スポーツ指導者等への指導力向上のための出張指導や研修事業のさらなる充実が必要



業務内容

1. パフォーマンス向上支援事業

健康づくりや競技力向上の実践に対するスポーツ医科学面からのサポート事業

下線は全てサポートスタッフ：下記の※表1を参照

対象者	内容	対応スタッフ
スポーツ愛好者	一般体力測定 身長・体重・肺活量や基本的な体力の測定⇒コンディショニング指導	SSCスタッフ
アスリート（パラアスリート）	①専門体力測定 専門機器を活用して瞬発系や持久系などの体力の測定	SSCスタッフ
	②コンディショニング（トレーニング）サポート 専門体力測定の結果等によるトレーニング・コンディショニング指導	SSCスタッフ サポートスタッフ（コンディショニング）
	③栄養サポート 体づくりや体調管理のための栄養素の摂り方などの指導・助言	サポートスタッフ（栄養）
		サポートスタッフ（栄養）
	④メンタルサポート 専門指導者によるメンタルコントロールサポート	サポートスタッフ（心理）
	⑤動作分析 選手の基本技術の動作を映像等で分析	SSCスタッフ サポートスタッフ（パフォーマンス分析）
⑥ゲーム分析 チームや個人のゲーム中の動きをデータ化・映像化して分析	サポートスタッフ（パフォーマンス分析）	

※表1：サポートスタッフ

2. 研修・支援事業

スポーツ指導者やスポーツ拠点のスタッフの指導力向上のために行う出張指導や研修事業

内容	対応スタッフ
出前出張事業 スポーツ指導者やスポーツを行っている子どもを持つ保護者、地域のスポーツ拠点のスタッフ等に対して、コンディショニング、栄養学、心理学等の知識や実践、効果的なトレーニング方法やスポーツ障害防止などについて指導	SSCスタッフ 外部講師
指導者等養成研修事業 競技別医科学コーディネーター（※1）、サポートスタッフ等に対する各種養成研修等	SSCスタッフ 外部講師

※1：各競技団体のスポーツ医科学担当者

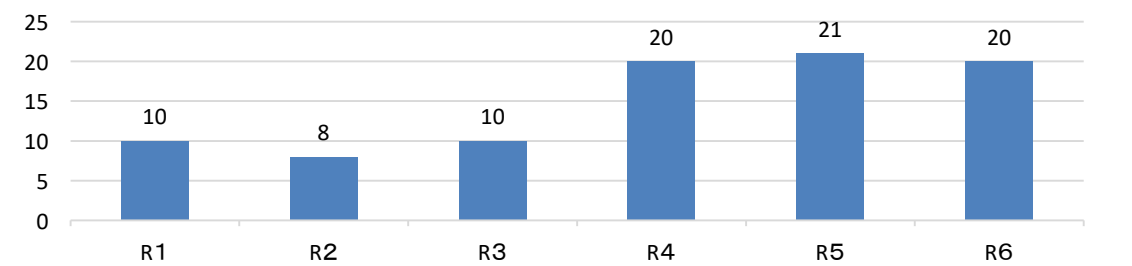
3. 研究・情報活用事業

高知県の実情に応じたスポーツ科学の研究やスポーツ医科学情報の収集・発信

内容	対応スタッフ
研究事業 高知県の実情に応じたスポーツ科学の研究・活用	SSCスタッフ
情報活用事業 スポーツ医科学情報の発信 スポーツを通じた健康に関する情報の発信	SSCスタッフ

SCCの活用状況

組織的に活用している競技団体数

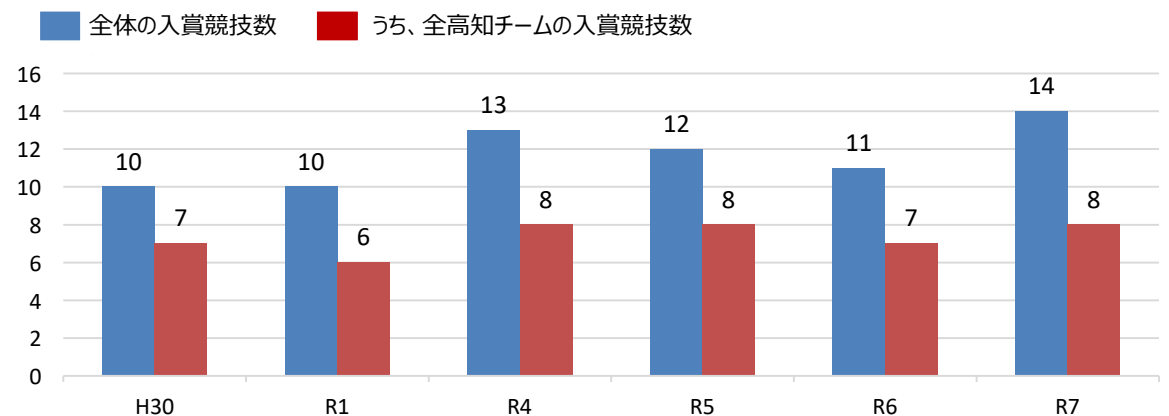


※組織的活用：専門体力測定と各種サポートの併用活用

サポート内容別利用者数

サポート内容	R1	R2	R3	R4	R5	R6
専門体力測定	514	466	498	1,422	1,179	1,764
コンディショニング	461	713	821	3,304	3,870	4,558
メンタルトレーニング	41	106	4	356	373	476
栄養指導	168	62	122	631	603	442
パフォーマンス分析	75	169	84	421	670	319
合計	1,259	1,516	1,529	6,134	6,695	7,559

国民スポーツ大会の入賞競技数に占める全高知チームの割合



※全高知チームはSSCを組織的に活用

※R2、R3は新型コロナウイルス感染症の影響により中止



現状・課題

- アスリートや指導者の企業就職を支援する仕組みがないため、高知県アスリートキャリア支援センター（無料職業紹介所）を開設（R6.12）
- 高知県アスリートキャリア支援センターを開設したものの登録企業数が伸び悩んでいる
- アスリートや指導者からの相談もあるが、登録企業が少なくマッチングできない

取組の方向性

- 現役の有望なアスリートや指導者と県内企業のマッチングのさらなる推進
- ・高知県アスリートキャリア支援センターの仕組みを県内企業や競技団体に広く周知
- ・関係団体との連携による登録企業の掘り起こしの強化
- ・企業の人材不足や指導者不足等の課題解決と競技力向上につなげる

目指す姿

- 高知県アスリートキャリア支援センターへの登録企業が増えている
- マッチングの仕組みを活用して県内企業への受入れが進んでいる
- 企業の人材不足、指導者不足等の課題解決と競技力の向上が進んでいる

◆運用イメージ

1.掘り起こし

- アスリート・指導者の雇用やサポートに関心のある**企業の掘り起こし**

<サポート内容 例>

- ・アスリートが大会などへ出場する際の休暇を推奨
- ・練習時間を確保しやすいように勤務時間を調整（フレックス等）
- ・遠征などの活動費をサポート など

2.マッチング支援

- 県内での就職を希望するアスリートを対象とした「**高知県アスリートキャリア支援センター**」の運用

<主な対象者>

【アスリート】

- ・過去3年間に国際大会又は国民スポーツ大会、全日本選手権大会等の国内大会に出場経験がある
- ・今後3年以上競技を継続する意向があり、国スポや全国大会入賞を目指す方

【指導者】

- ・日本スポーツ協会公認指導者資格を有し、個人や団体を全国大会に出場させ、入賞させた実績がある、また、出場・入賞を目指す方

拡

+ 県内での競技活動が地域や企業スポーツの活性化につながる方

+ 県内での指導活動が地域や企業スポーツの活性化につながる方

- 無料職業紹介所の開設（R6.12）**

- ・スポーツ課に無料職業紹介所を開設し、登録企業の求人情報を紹介
- ・「高知県アスリートキャリア支援センター」の登録者を中心に就職をサポート
- ・専用HPの開設

- 民間企業や自治体等が主催する**マッチングイベント、合同説明会への出展等**

3.アフターフォロー等

- 採用されたアスリート・指導者及び採用した企業のフォロー

- 競技活動等をサポートしてくれる企業をHPなどで紹介
- ・スポーツ課HP
- ・専用HP 等

- 関係機関と連携し、求職者が採用に至るまでのフォロー

◆マッチングまでのスキーム

■ 求職者（アスリート・指導者）側

STEP1 アスリート等キャリア支援バンクに登録

- ・エントリーシートを提出することで登録が可能
- ・登録者には資料を送付
- ・情報収集の一環として登録可能
- ※事務局はエントリーシートでアスリートとしてのキャリアを確認

STEP2 求職登録

- ・就職斡旋を希望する場合「求職票」を提出
- ・希望する求人や企業の詳細について職業紹介所担当者が補足
- ・企業側から受けられるサポートなどについて説明

STEP3 面接

- ・企業の採用面接
- ※面接の調整は必要があれば職業紹介所が仲介
- ※必要があれば面接指導を行う

STEP4 結果

- ・採用の場合企業で勤務

STEP1 求人登録

- ・斡旋を希望する場合「求人票」を提出
- ※事務局はアスリートへのサポートの可否について確認

- ・職業紹介所からの問い合わせ対応
- ・求人情報の更新（随時）



STEP2 面接

- ・採用面接の実施

STEP3 結果

- ・雇用

◆期待される効果

- 県外で活動している人が、競技を続けながら高知県で就職したいニーズへ対応することによるUIターンの促進
- 働きながら競技活動ができる場を提供することによる若者の流出抑制
- 県内企業の人手不足の改善
- 指導者不足の改善
- 地域、企業スポーツの活性化
- 競技力の向上

令和8年度 スポーツツーリズムの推進

プロ・アマチュアスポーツのキャンプや合宿、大会の誘致、地域の特色を活かしたスポーツツーリズム等を推進し、地域経済の活性化や観光振興につなげる。

目標

スポーツを通じた県外入込客数
R4年:5.3万人 → R9年:12万人

(1) プロ・アマチュアスポーツの誘致

① プロスポーツ

・温暖な気候やスポーツ施設を生かし、プロ野球やJリーグのキャンプ、プロゴルフ大会等を誘致

新・新県民体育館の整備を見据え、競技団体等と連携し、屋内プロスポーツの合宿や大会等を誘致



② アマチュアスポーツ

・観光コンベンション協会や市町村、競技団体、旅行会社等と連携し、合宿や大会を誘致

・合宿助成金や合宿の受入を行う施設の掘り起こし、受入れ窓口のワンストップ化等を行い、合宿誘致を促進



新 ①② 共通

・プロ、アマスポーツ合宿や大会の受入等の拡大に向けた環境整備を推進

(2) 地域の特色を活かしたスポーツツーリズムの推進

① スポーツ大会の開催支援

- ・自然を活かしたスポーツ大会開催助成金の周知
- ・市町村等と連携し、県内で開催されるスポーツ大会の魅力や参加者募集の情報発信（スポる！KOCHI）



② サイクルツーリズムの推進

- 新**
- ・県内サイクリストの動向等の調査及びニーズに応じたサービス提供
 - ・四国4県が連携し、四国一周1,000kmプロジェクトを実施

③ 高知龍馬マラソンの開催

- ・競技団体や市町村等と連携し、1万人規模の大会を継続開催
- ・安定的な参加者確保に係る中長期的な対応策の継続検討



情報
発信

- 県スポーツツーリズムポータルサイト「スポる！KOCHI」を通して、国内外へ積極的に情報発信(英語、韓国語、簡体字、繁体字に対応)



- プロキャンプや大会、県内で開催されるスポーツイベント等の情報
- インフルエンサーによるサイクリングなどの体験記事
- 高知USCや高知FDの試合情報、選手の密着取材記事 etc

(3) 地元プロチームとの連携

① 高知ユナイテッドSC

- ・ホーム・アウェイ戦で観光プロモーション等を行い、試合観戦だけでなく、周遊観光を促進
- ・ホーム戦のアクセス手段の確保（シャトルバスの運行）等を支援
- ・ふるさと納税型クラウドファンディングを活用し、ALL高知の支援体制を構築

② 高知ファイティングドッグス

- ・新たなイベント実施や観戦特典付与等によるホーム戦観者の獲得
- ・高知FDを応援する県民会議の冠試合、阪神タイガースファームとの交流戦を継続開催

(4) スポーツを通じたインバウンドの誘致

① 合宿や大会の誘致

- ・東京2020オリ・パラのホストタウン登録国への合宿誘致等に向けた営業
- ・競技団体等と連携した合宿や大会の誘致



② ゴルフ、サイクリング、マラソン大会

- ・インバウンドが情報収集の際に活用する媒体等を活用した情報発信
- ・四国4県が連携し、台湾をターゲットに「サイクルアイランド四国」をPR

令和7年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

○第3期高知県スポーツ推進計画の総括評価基準

評価区分	達成状況
S	数値目標の達成率 110%以上
A	// 100%以上110%未満
B	// 85%以上100%未満
C	// 70%以上 85%未満
D	// 70%未満
—	達成度の判断が困難なもの

令和7年9月末時点

令和7年度 各部署のスポーツ関連施策の取組状況

担当部署 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和7年度の当初計画	令和7年度の取組み状況 【令和7年9月末時点】	課題と今後の取組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達目標)	令和7年度の 到達目標に対する 令和7年9月 末の到達状況
総合企画部 (中山間地域対策課)	<p>【施策の柱】 スポーツを通じた活力ある県づくり</p> <p>【施策の方向性】 (4) 産学官民によるスポーツを支える体制の充実</p> <p>【具体的な施策】 33ページ</p>	<p>(1) 集落活動センター推進事業費補助金 ・補助制度（センター立ち上げの際の初期投資や、既存センターでの取組みの拡充等を支援）を活用し、スポーツ合宿の受入体制整備を支援</p> <p>(2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり ・観光振興スポーツ部等と連携し、スポーツ合宿の受け入れに向けたPRを実施 ・関係人口創出プロジェクト「いこうち！」を活用したボランティアスタッフの募集</p>	<p>(1) 集落活動センター推進事業費補助金 ・地域本部等を通じて、市町村や集落活動センターに補助制度を周知 ⇒現時点で補助制度の活用なし（スポーツ合宿関連）</p> <p>(2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり ・土佐巡里の配布によるPR 市町村、観光協会（5月） 県内の道の駅、観光施設（6月） ・ボランティアスタッフ募集によるスポーツ大会などの運営サポート <u>「いこうち！」募集中プログラム</u> <u>斗賀野地区運動会（10月・佐川町）</u> <u>GO～郷～ウォーキング（11月・黒潮町）</u></p> <p>【受入実績（9月末見込み）】 ①宿泊（3施設）※一般の受け入れ含む 集落活動センターであいの里蜷川（※延べ477人泊） <u>集落活動センターかきせ（※延べ414人泊）</u> 集落活動センターおちめん（※延べ1,683人泊） 合計 延べ2,574人泊</p> <p>②食の提供（4施設） ＜土佐西南大規模公園＞ <u>集落活動センター佐賀北部（※延べ6回578食）</u> <u>集落活動センター北郷（※延べ17回1,051食）</u> 集落活動センターであいの里蜷川（※延べ1回200食）</p> <p>＜須崎市立スポーツセンター＞ 集落活動センターうらのうち（※延べ28回3,726食） 合計 延べ52回5,555食</p>	<p>(1) 集落活動センター推進事業費補助金 既存センターにおいては、マンパワー不足により、これ以上のスポーツ合宿の受け入れは難しい状況。 今後、新たにスポーツ合宿などの宿泊事業を検討するセンターに対しては、補助制度を活用した施設整備を提案し、受入体制の充実を図る。</p> <p>(2) 集落活動センターへの誘客の仕組みづくり スポーツ合宿は夏休みや冬のオフシーズンに集中しており、受入数をさらに拡充していくためには、合宿の分散化に向けた誘致が必要。 引き続き、市町村や観光振興スポーツ部と連携したPRを実施することで、宿泊施設としての認知度の向上を図り、通年における宿泊受入数の増加に取り組む。 また、スポーツ大会の運営に係るスタッフが不足しているため、ボランティア募集により運営体制の強化を図る。</p>	<p>◆スポーツによる県内の交流人口が拡大している</p> <p>◆スポーツによる県外からの誘客が増加している</p> <p>KPI:延べ宿泊者数 R9：4,000人</p> <p>【参考：過去実績】 ①宿泊 R5年度：3,611人 R6年度：3,947人</p> <p>②食の提供 R5年度：10,049人 R6年度：11,176人</p>	-
総合企画部 (交通運輸政策課)	<p>【施策の柱】 スポーツ参加の拡大</p> <p>【施策の方向性】 (3) 障害者がスポーツに親しめる環境づくり</p> <p>【具体的な施策】 22ページ</p>	<p>(1) 地域公共交通支援事業費補助金 ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施（R7当初要望 購入7両、低床化改造0両）</p> <p>②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施（R7当初要望なし）</p> <p>(2) バス運行対策費補助金 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者、低床車両導入に対する補助を実施（R7当初：8両）</p>	<p>(1) 地域公共交通支援事業費補助金 ①生活交通路線を運行する乗合バス事業者及び市町村に、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入（当初要望7両） ・申請状況：<u>7両の申請あり</u> ・残5両についてはR7.7月～9月に申請予定 ・導入予定時期：<u>R7.12月～R8.3月</u> ○低床化改造（当初要望0両） ・申請状況：<u>0件</u> ・導入予定時期：<u>なし</u></p> <p>②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助を実施 補助制度について、市町村担当者会（7月）において活用事例も含めて周知。 ○バス待合所トイレのバリアフリー化（当初、要望なし） ・申請状況：<u>1件</u> ・導入予定時期：<u>R7.8月</u></p> <p>(2) バス運行対策費補助金 複数市町村を横断し運行を行う乗合バス事業者、低床車両導入に対する補助を実施 ○車両購入（R7当初要望8両） ・申請状況：<u>2件（6両分）</u> ・8両についてはR7.8月～10月に申請予定 ・導入予定時期：<u>R7.10月～R8.2月</u></p>	<p>(1) 地域公共交通支援事業費補助金 ①低床車両導入に対する補助 本県の低床車両導入率は、事業者が車両を購入するだけの資金余力がないなどの要因もあり、49.30%と四国平均（65.70%）を下回る状況（R6.3月末時点）。 <u>令和7年度も導入が進むものの、依然として導入率は低調であることから、事業者に対して、引き続きバリアフリー化の意義や乗降時の安全性の向上、乗務員の負担軽減といった効果など、バリアフリーに関する意識の醸成を図り、低床車両の導入を促進する。</u></p> <p>②バス停留所・鉄道の駅舎のバリアフリー対応に対する補助 事業者から市町村に対して補助の要望はあるものの、補助にあたって費用負担が生じることが市町村が二の足を踏む原因となっている事例あり。 市町村担当者会等、機会を捉えて取組の趣旨、効果の周知徹底を図ることにより、バリアフリー化を進めていく。</p> <p>(2) バス運行対策費補助金 (1) ①と同じ</p>	<p>◆障害者のスポーツ参加が拡大している</p> <p>(1) 地域公共交通支援事業費補助金 【参考：過去実績】 R5年度： 購入6両 改造0両 R6年度： 購入5両 改造3両</p> <p>(2) バス運行対策費補助金 【参考：過去実績】 R5年度：9両 R6年度：10両</p>	-

令和7年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和7年度の当初計画	令和7年度の取組み状況 【令和7年9月末時点】	課題と今後の取組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の 到達目標)	令和7年度の 到達目標に対する 令和7年9月末の 到達状況
健康政策部 (保健政策課)	<p>【施策の柱】 スポーツ参加の拡大</p> <p>【施策の方向性】 (6) スポーツを通じた健康増進や生きがいづくり</p> <p>【具体的な施策】 25ページ</p>	<p>高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充</p> <p>①健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報</p> <p>②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘルシーポイント付与） ・ウォーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、県内運動施設利用でヘルシーポイントを付与</p> <p>③健康パスポートアプリによるウォーキングの促進 ・1日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レベルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウォーキングイベント等の実施（年間3回実施予定）</p> <p>④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対するスポーツイベント等の情報発信</p> <p>⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ等による啓発</p> <p>※KPI（R7年度目標値）： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）→24,800件 ・日常生活における歩数 20-64歳（男女）：8,000歩 65歳以上（男女）：6,000歩 ※代替指標（県民世論調査）：1日の平均歩数8,000歩未満の割合減少</p>	<p>高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充</p> <p>①健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進 ・アプリやHPでの広報 →スポーツクラブ利用者によるヘルシーポイント付与 R7年（9月末時点）：のべ10,006人</p> <p>②スポーツイベント等でのインセンティブの提供（ヘルシーポイント付与） ・ウォーキング大会等のスポーツイベントへの参加や、県内運動施設利用でヘルシーポイントを付与 →のべ109,567人が参加・利用（9月末時点）</p> <p>③健康パスポートアプリによるウォーキングの促進 ・1日に8,000歩（65歳以上は6,000歩）以上歩くなど日常の健康づくりに対してヘルシーポイント付与 ・個人の歩数目標設定機能によりそれぞれの活動レベルに応じた健康づくりを支援 ・アプリを活用したウォーキングイベント等の実施 9月：健康チャレンジコラボイベント（個人） 10～1月：高知家ウォーキングチャレンジ（事業所） 11月：四国対抗ウォーキングイベント（個人） 1月：ウォーキングイベント（個人） 2月：レコ活イベント（個人）</p> <p>④健康パスポートアプリのお知らせ通知機能を活用した、健康行動の勧奨に関する情報発信 ・市町村及び県からアプリユーザーに対するスポーツイベント等の情報発信：17回（9月末時点）</p> <p>⑤働きざかりへの総合啓発の実施 ・健康づくりひとくちメモ（運動編）：テレビ放送3回</p> <p>※KPI： ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）（R7年9月末）→23,403件 ・日常生活における歩数（R6年度） ※代替指標（県民世論調査）：1日の平均歩数8,000歩未満の割合：67.7%</p>	<p>高知家健康パスポートと連携したスポーツ参加機会の拡充</p> <p>【課題】 ・男女とも歩数が少なく、全国平均を下回っている。</p> <p>・アプリダウンロード件数は順調に増加しているが、女性に対して男性の件数が少ない。</p> <p>【今後の取組み予定】 ・職場と連携したイベントを通じたダウンロード件数を増やし、運動の取組みを後押しする。</p>	<p>◆健康管理に取り組む人が増え、運動習慣など保健行動の定着が図られている</p> <p>(R9年度目標) ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）：27,100件 ・日常生活における歩数 20-64歳（男女）：8,000歩 65歳以上（男女）：6,000歩</p> <p>【参考：過去実績】 R5年度 ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）→17,169件 ・日常生活における歩数 若年男性6,777歩、若年女性4,572歩 高齢男性6,247歩、高齢女性4,134歩</p> <p>R6年度 ・パスポートアプリダウンロード件数（男性）→21,585件 ・日常生活における歩数 <20～59歳> 代替指標 (県民世論調査： 1日の平均歩数8,000歩未満の者の割合) (R6) 男性：77.3% 女性：85.0% <60歳以上> 代替指標 (県民世論調査： 1日の平均歩数6,000歩未満の者の割合) (R6) 男性：71.9% 女性：77.5% ※R6年度以降の目標値は「第5期日本一健康長寿県構想」(R6～R9)に準ずる</p>	<p>・パスポートアプリダウンロード件数（男性）： B（進捗率94.3%）</p>

令和7年度 各部署のスポーツ関連施策の取組状況

担当部署 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和7年度の当初計画	令和7年度の取組み状況 【令和7年9月末時点】	課題と今後の取組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達 目標)	令和7年度の 到達目標に対する 令和7年9月末の到 達状況
子ども・福祉政策部 (長寿社会課)	<p>【施策の柱】 スポーツ参加の拡大</p> <p>【施策の方向性】 (1) 身近な地域 でスポーツに親しめる 場の拡充 (6) スポーツを通 じた健康増進や生き がいつくり</p> <p>【具体的な施策】 20、25ページ</p>	<p>高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 高齢者が健康で生きがいをもって社会生活ができるよ うな各種取り組みを支援することにより、高齢者福祉の 推進を図る。</p> <p>①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 ・大会の開催 種目別競技会(20種目)の開催 (4/12～5/18)</p> <p>②ねんりんピックへの選手派遣支援 (高知県社会福祉協議会への補助金交付) ・ねんりんピック岐阜：開催期間10/18～10/21 総合開会式(10/18) 競技会(10/18～10/21)</p> <p>③ろうれんピック開催支援 (県老人クラブ連合会への補助金交付) ・開催日 東部大会(安芸市) 室内競技 5/22 屋外競技 10/1 中部大会(高知市) 室内競技 6/11 屋外競技 10/15 西部大会(宿毛市) 室内競技 5/30 屋外競技 10/28</p>	<p>高齢者の生きがいと健康づくり推進事業</p> <p>①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 種目別競技会(4/12～5/18) 17種目(健康マージャン、囲碁、将棋を除く) ・参加者数838人 【4/26】剣道 【5/7】ペタンク 【5/8】水泳、マラソン、ゲートボール、 ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフ、 太極拳、ソフトボール(1日目)、 ソフトテニス 【5/9】パークゴルフ 【5/10】ボウリング 【5/11】バウンドテニス、ソフトバレーボール 【5/15】ソフトボール(2日目)、テニス、卓球 【5/17】弓道</p> <p>②ねんりんピックへの選手派遣支援 ねんりんピック岐阜2025(10/18～21) ・総合開会式(10/18) 競技会(10/18～ 10/21)</p> <p>③ろうれんピック開催支援 東部大会(安芸市) 5/22・10/1 中部大会(高知市) 6/11・10/15 西部大会(宿毛市) 5/30・10/28</p>	<p>高齢者の生きがいと健康づくり 推進事業 こうちシニアスポーツ交流大会や ろうれんピックについては、新型コロ ナウイルス感染症拡大により大幅 に減少した参加者数が回復して いない。</p> <p>高齢者の継続的な健康づくりを 推進するため、引き続き各市町 村の老人クラブにおける健康づくり や介護予防の取り組みを支援す る。</p>	<p>◆スポーツを通しての交 流を図り、健康づくりや 介護予防につなげる。 高齢者が健康で生き がいをもって社会生活 ができるようになる</p> <p>【参考値】 ・こうちシニアスポーツ交 流大会の参加者* R5年度：949人 R6年度：892人</p> <p>*17種目(健康マ ージャン、囲碁、将棋を 除く)</p>	-
土木部 (公園上下水道課)	<p>【施策の柱】 スポーツ参加の拡大</p> <p>【施策の方向性】 (1) 身近な地域 でスポーツに親しめる 場の拡充</p> <p>【具体的な施策】 20ページ</p>	<p>春野総合運動公園の整備 プロ野球キャンプ(R8.2想定)の利用開始に向けて、 屋内運動場の整備推進を図る。 (屋内運動場 設備) ・投球練習(ブルペン)6レーン ・テニスコート(人工芝)2面</p> <p>①建築主体工事：R7.2.26～R8.1.9</p> <p>②機械設備工事：R7.3.31～R8.1.9</p> <p>③電機設備工事：R7.5.28～R7.12.7</p>	<p>春野総合運動公園の整備</p> <p>①屋根の設置完了、外壁等施工中 ②、③配管、配線施工中</p>	<p>春野総合運動公園の整備 ・着実に整備等を進めていき、屋 内運動場の利用を開始する。 ・R8.2：プロ野球キャンプ(想 定) ・R8.3：一般利用開始</p>	<p>【参考：過去実績】 R5年度～R6年度 詳細設計、造成工 事完了</p>	-

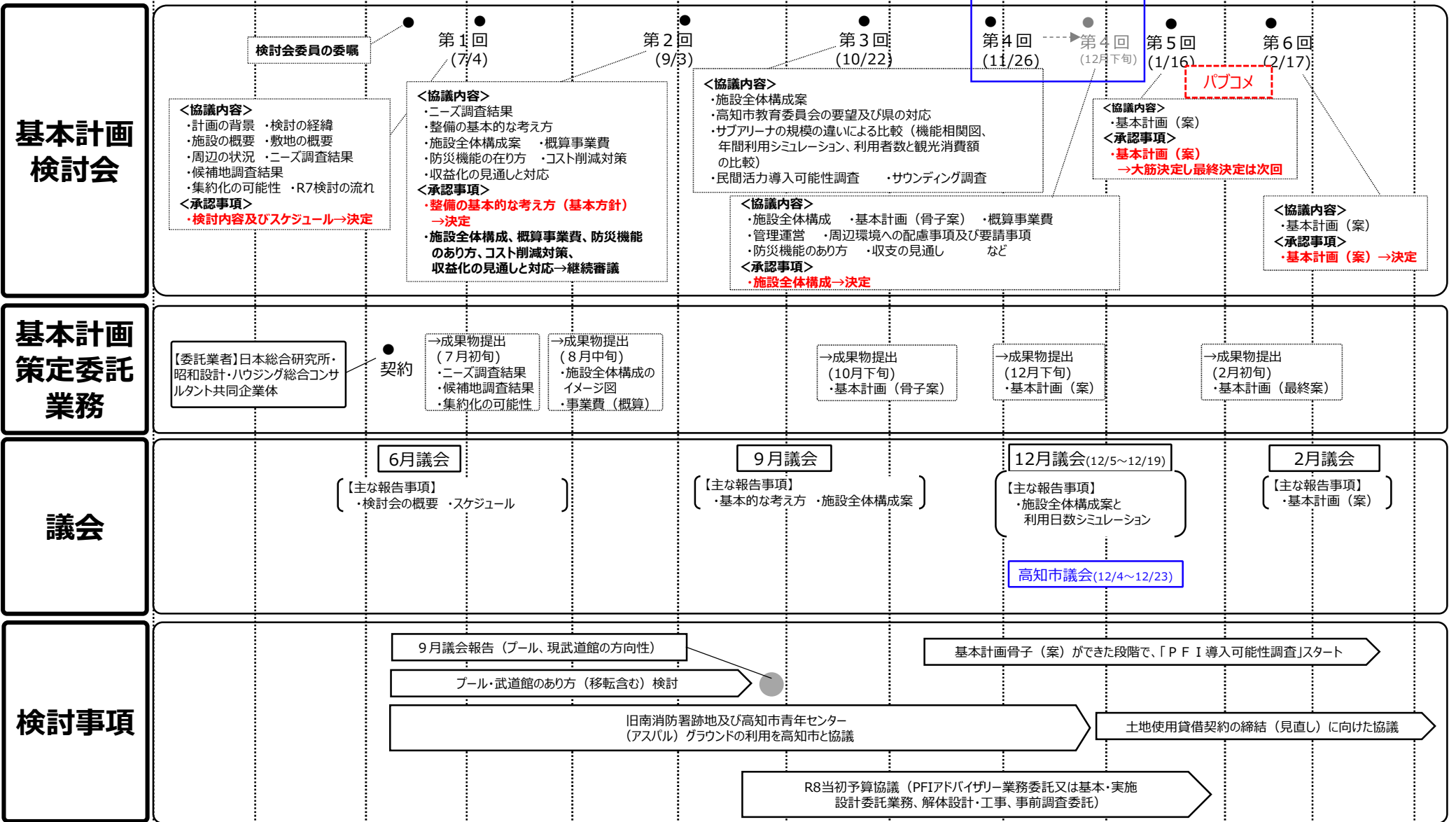
令和7年度 各部局のスポーツ関連施策の取組状況

担当部局 (担当課)	施策の柱 施策の方向性 事業実施計画	令和7年度の当初計画	令和7年度の取組み状況 【令和7年9月末時点】	課題と今後の取組み予定	目指すべき姿 (令和9年度の到達目標)	令和7年度の 到達目標に対する 令和7年9月 末の到達状況
教育委員会 (保健体育課)	<p>【施策の柱】 スポーツ参加の拡大</p> <p>【施策の方向性】 (1) 身近な地域 でスポーツに親しめる 場の拡充</p> <p>【具体的な施策】 19ページ</p>	<p>部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進</p> <p>公立中学校の部活動の地域展開（地域移行）に向けて、県内有識者等による「検討会議」において対応を協議し、令和13年度までの県の方針等を本年度中に策定する。</p> <p>地域展開（地域移行）が可能なクラブについては、早期に対応を進める。</p> <p>また、顧問に代わり専門的な指導ができる部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減を図るとともに、生徒が専門的な指導を受けられる環境を整備する。</p> <p>【R7目標】 拠点校部活動：5部活動 地域クラブ：10クラブ</p> <p>【参考：国の動向】 令和7年5月に国の有識者会議から、「令和8～13年度を部活動改革実行期間とし、休日については原則、全ての学校部活動において地域展開（地域移行）の実現を目指す」等の提言が示されたところ。</p> <p>→ 令和7年冬以降に今後の国の方針（予算措置含む）が決定される見通し</p> <p>他方で、教職員の給特法改正により、令和11年度までに時間外勤務を平均月30時間程度に削減する目標が定められたこともあり、部活動改革をさらに進める必要性が高まっている。</p>	<p>部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進</p> <p>①部活動地域連携等支援事業</p> <p>○部活動地域連携等実証事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国費を活用した地域移行に向けた実証事業 3市（南国市、四万十市、土佐清水市） ・拠点校部活動（地域連携）に向けた実証事業 5市町（高知市、いの町、四万十町、四万十市、宿毛市） <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教委への「部活動総括コーディネーター」配置 ・各市町村への訪問及び協議会等への参加 <p>・第1回幹事会（7/17） ・部活動改革に関するアンケート [対象]小5・6年生、中1・2年生 とその保護者、中学校教員 [時期]7/1～7/31</p> <p>【市町村教育委員会認定数】 拠点校部活動：9部活動 地域クラブ：45クラブ</p> <p>②運動部活動指導員配置事業</p> <p>○運動部活動指導員の配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校：20校53人 ・県立中学校：3校5人 ・市町村立中学校：16市町村60人 ・合計：118人 <p>・県立学校への配置に係る研修（7月）</p>	<p>部活動の地域連携・地域展開（地域移行）に向けた取組の推進</p> <p>①部活動地域連携等支援事業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域展開（地域移行）の受け皿となるスポーツ団体等の不足 <p>【今後の取組】</p> <p>検討会議において県の方針等を協議し、年度内の県ガイドライン改訂に取り組む。</p> <p>また、各市町村を訪問し、県の方針を踏まえ、受け皿団体の整備を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回高知県における部活動地域連携・地域移行検討会議（12/1） ・第2回幹事会（10/31） ・部活動地域展開等に関する市町村協議会（11/11） <p>②運動部活動指導員配置事業</p> <p>【課題】</p> <p>地域での指導者不足、指導者の質の確保</p> <p>【今後の取組】</p> <p>大学との連携を含め、指導者確保の拡充に向けた協議・検討を行う。</p> <p>また、各種研修により、指導者の質の確保・向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学との協議（7月～） ・指導力向上研修会（10/5） 	<p>◆県内全市町村が、地域の実情に応じた部活動改革の取組を実施することで、子どもたちのスポーツ活動の機会確保につながっている</p> <p>【参考：過去実績】 R5 拠点校部活動：0部 地域クラブ：5クラブ R6 拠点校部活動：4部 地域クラブ：25クラブ</p> <p>◆生徒が部活動において、専門的な指導を受けられることができる体制が整備されている</p> <p>【参考：過去実績】 R5：132人 R6：136人</p>	S

「新県民体育館整備等基本計画検討会」の今年度のスケジュールについて

資料 2

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



新しい県民体育館の施設全体構成案（配置シミュレーション）

各施設の規模想定

【メインアリーナ】

・観客席5,000席 ・床面積9,900㎡（参考：OPEN HOUSE ARENA OTA 太田市総合体育館）

【サブアリーナ】

次の2パターンを検討 床面積：①4,900㎡、②1,050㎡

①バスケコート2面+観客席1,000席 ⇒競技大会を主にサブアリーナで開催

②バスケコート1面のみ ⇒競技大会を主にメインアリーナで開催

【武道館】

現況の武道館の試合場の規模を想定（観客席：300~400席）

4面の場合：2,100㎡ 3面の場合：1,650㎡

【プール】

現況プール（25m×8コース）

床面積：1,050㎡

【駐車場】

現況（82台）以上

シミュレーションにおける考え方

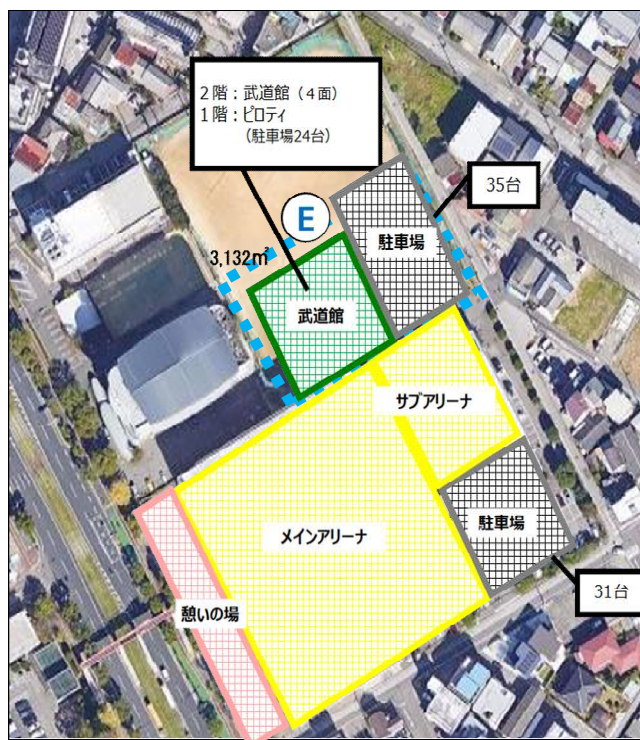
- 敷地面積は①現有地のみ、②現有地+南消防署跡地、③現有地+南消防署跡地+アスバルこうちのグラウンドの3つの想定で検討
- メインアリーナとサブアリーナを必須、武道館は試合場（4面又は3面）を想定
- プールは日常使いが主な用途であるため、優先順位は**武道館>プール**

現施設の概要

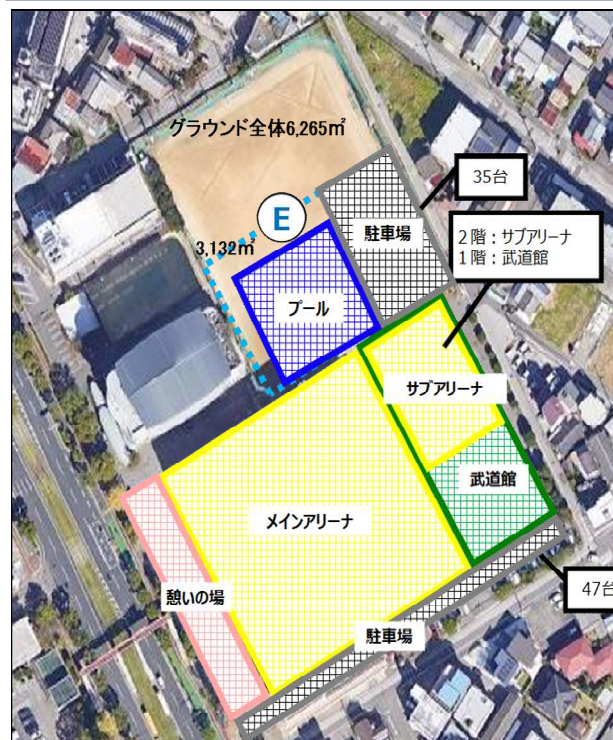


敷地面積	現有地（10,714㎡） 体育館(A) プール(B) 駐車場(C)
	南消防署跡地(D) （1,304㎡）
	アスバルこうちグラウンド(E) （半面程度：3,132㎡）
合計 15,150㎡	
施設の概要	【主競技場】観客席1,572席(固定) バスケ2面、バレー3面、 バドミントン10面、卓球36面 など
	【補助競技場】 バスケ1面、バレー1面、 バドミントン3面、卓球16面
	【プール】 25m×8コース
	【駐車場】 82台
	【憩いのスペース】 なし

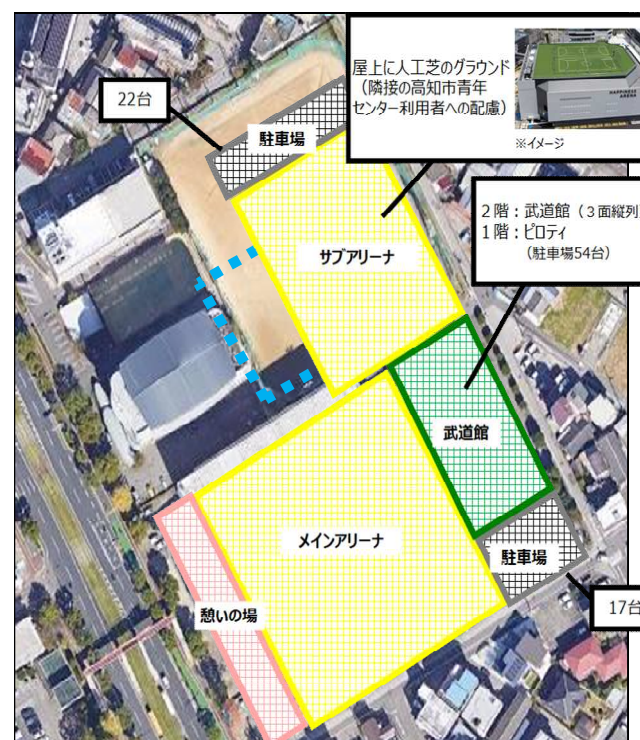
案① サブアリーナ（バスケコート1面）



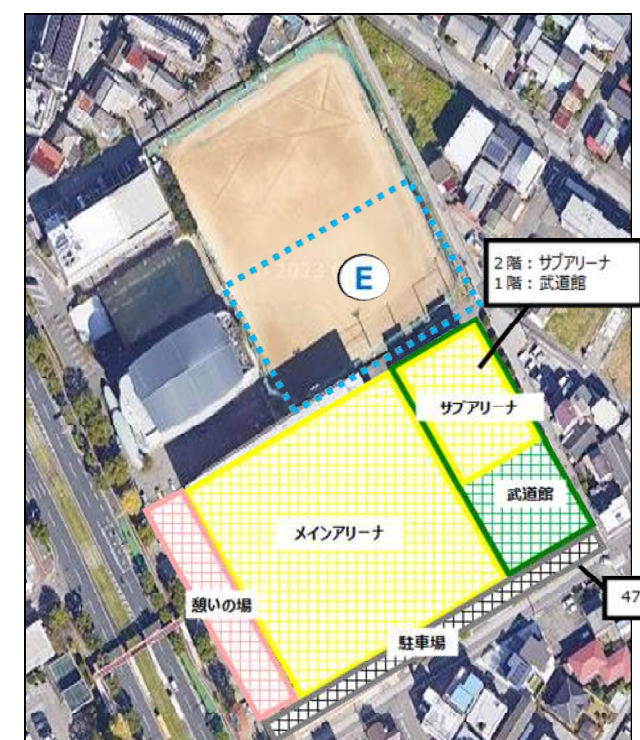
案② サブアリーナ（バスケコート1面）&プール



案③ サブアリーナ（バスケコート2面+観客席）



案④ サブアリーナ（バスケコート1面）



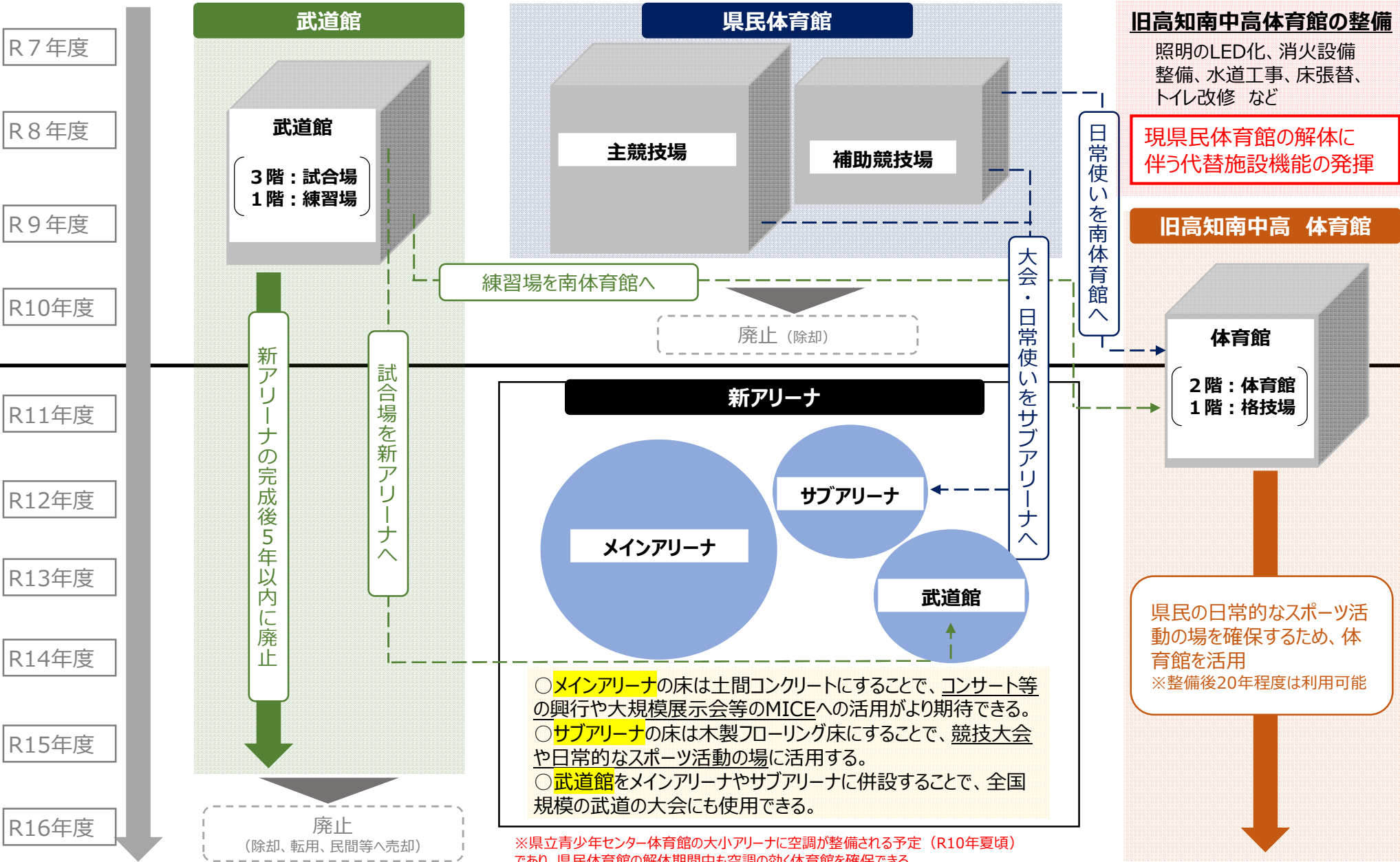
検討結果

- 様々な配置シミュレーションの中から、県から上記4案を検討会に提案
- **現有地のみ**の敷地では、新しい県民体育館に必要な機能・規模を満たす**配置は困難**
⇒ **南消防署跡地とアスバルこうちのグラウンドを含めた敷地で、配置候補を選定**

評価

- 案①、案②、案④は、サブアリーナがバスケコート1面で観客席は確保できず、**競技大会はメインアリーナで開催する必要がある**
- 案③は、サブアリーナで**バスケコート2面**がとれ、**競技大会は主にサブアリーナで開催できる**
- 案①~③は、アスバルこうちのグラウンドを使用することとなり、**グラウンドの代替となる屋上施設の整備や、整備にあたり教育的な配慮を行う必要がある**

新しい県民体育館の整備に伴う集約化・機能移転のイメージ



高知県では、スポーツツーリズムによる県外からの入込客数の増加を図るため、プロ・アマチュアスポーツの合宿・大会の誘致活動や、受入体制の充実を図る取組を推進しており、令和6年(1月～12月)に行われたプロ・アマチュアスポーツのキャンプ、合宿、大会等(県外からの参加者・観戦者に限る)による経済波及効果を算出。

1 経済波及効果及び社会的効果

経済波及効果 4,913百万円

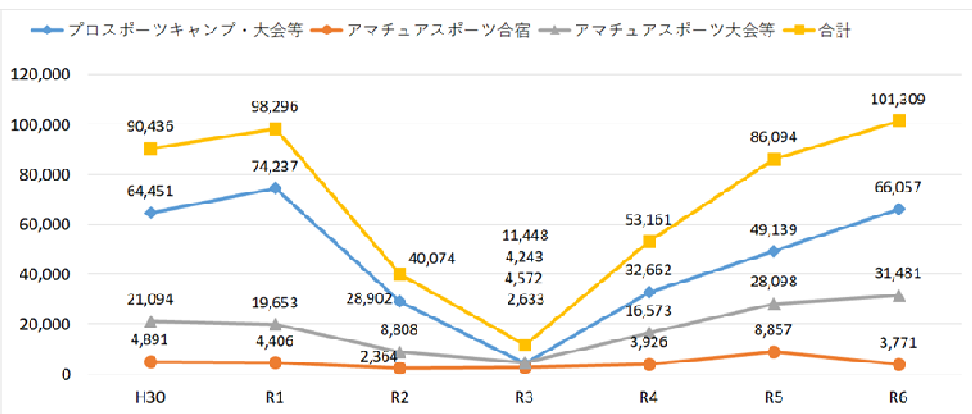
直接効果	間接1次効果	間接2次効果	合計
3,291百万円	1,086百万円	536百万円	4,913百万円

- (注意)
- ・県外からのスポーツキャンプ・合宿・大会等の参加者及び観客が、高知県内で消費した金額に基づいて算出しています(県内からの参加者・観客は算出に含んでいません)。
 - ・なお、キャンプ・合宿誘致や大会の開催等に伴う事業費は、算出に含んでいません。
 - ・高知龍馬マラソンのみ県内参加者及び観客の消費額や開催に伴う事業費を含んでいます。

期待される社会的効果

- ①地域コミュニティの形成
合宿受入や大会ボランティア等を通じて、選手や住民同士の交流の活性化
- ②地域アイデンティティの醸成
チームの応援や受入を通じて地域への誇りや愛着の醸成
- ③地域情報の発信
選手等による地域の食や文化、人の温かさ等の魅力の情報発信
- ④スポーツ参加の拡大
選手との交流やスポーツ教室の開催、観戦機会の増加等による意識醸成
- ⑤青少年への影響
プロスポーツを身近に見られる環境、合宿相手との練習試合や交流等

2 スポーツ関連イベントによる県外からの来客数

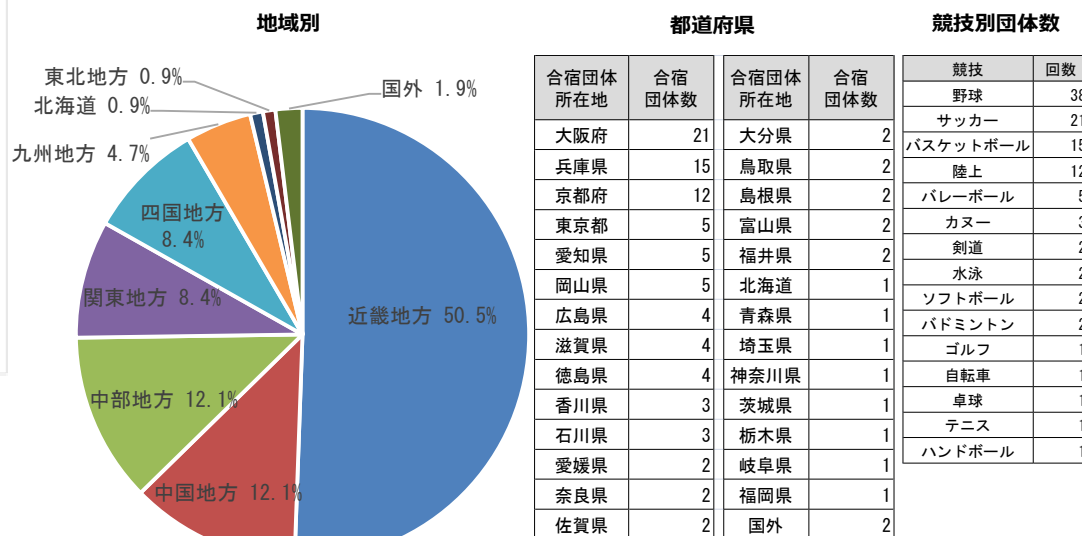


<主なポイント>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年以降、全体的に入込客数が落ち込んでいるが、令和4年以降は回復傾向にあり、令和6年はコロナ禍以前を上回る県外からの入込客数まで回復した。
- ・アマチュアスポーツ合宿は、気象庁から令和6年8月に発表された「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」の影響を受け、令和5年に比べて減少した。

3 アマチュアスポーツ合宿の受入状況

※R6 高知県アマチュアスポーツ合宿支援事業助成金交付団体の実績



令和6年スポーツツーリズムによる経済波及効果等について

県では、スポーツツーリズムによる県外からの入込客数の増加を図るため、プロ・アマチュアスポーツの合宿・大会の誘致活動や、受入体制の充実を図る取組を推進しております。

このたび、令和6年のプロ・アマチュアスポーツの合宿・大会の実績等を基に、スポーツツーリズムによる経済波及効果を算出しました。

併せて、スポーツツーリズムがもたらす社会的効果をまとめました。

引き続き、経済的・社会的効果を一体的に捉えて施策を進めてまいります。

記

1 経済波及効果

(1) R6 経済波及効果 **4,913 百万円** (R5:3,592 百万円、対 R5 年比+1,321 百万円)
(※ スポーツツーリズム課調べ)

(2) 算出対象 ① 令和6年のスポーツを通じた県外からの入込客数 : 101,309 人
② 高知龍馬マラソン2024の県内参加者数 : 5,302 人

<内訳>

直接効果	間接1次効果	間接2次効果	合計
3,291百万円	1,086百万円	536百万円	4,913 百万円

※ 平成27年高知県産業連関表の40部門表を用いて試算。

※ 県外からのスポーツキャンプ・合宿・大会等の参加者及び観客が、県内で消費した金額に基づいて算出（県内からの参加者・観客は算出に含まない。）。

※ なお、キャンプ・合宿誘致や大会の開催等に伴う事業費は、算出に含まない。

※ 高知龍馬マラソンのみ、県内参加者及び観客の消費額や開催に伴う事業費を含む。

【用語】

直接効果：消費を満たすために行われる、県内での最初の生産活動

間接1次効果：直接効果で使用される原材料の生産活動

間接2次効果：上記の生産活動から生じる雇用者所得等を基に消費される財・サービスの生産活動

2 スポーツツーリズムを通じた社会的効果

① 地域コミュニティの形成

(合宿受入や大会ボランティア等を通じて、選手や住民同士の交流の活性化)

② 地域アイデンティティの醸成

(チームの応援や受入を通じて地域への誇りや愛着の醸成)

③ 地域情報の発信

(選手等による地域の食や文化、人の温かさ等の魅力の情報発信)

④ スポーツ参加の拡大

(選手との交流やスポーツ教室の開催、観戦機会の増加等による意識醸成)

⑤ 青少年への影響

(プロスポーツを身近に見られる環境、合宿相手との練習試合や交流等)

補足説明

1 推計範囲及び推計方法

区 分	県外からの 入込客数	県外からの 延べ人数	総消費額
① プロスポーツキャンプ・ 大会等	66,057 人	141,259 人	2,375,403 千円
② アマチュアスポーツ合宿	3,771 人	21,860 人	297,209 千円
③ アマチュアスポーツ大会等	31,481 人	62,754 人	1,256,671 千円
合 計	101,309 人	225,873 人	3,929,283 千円

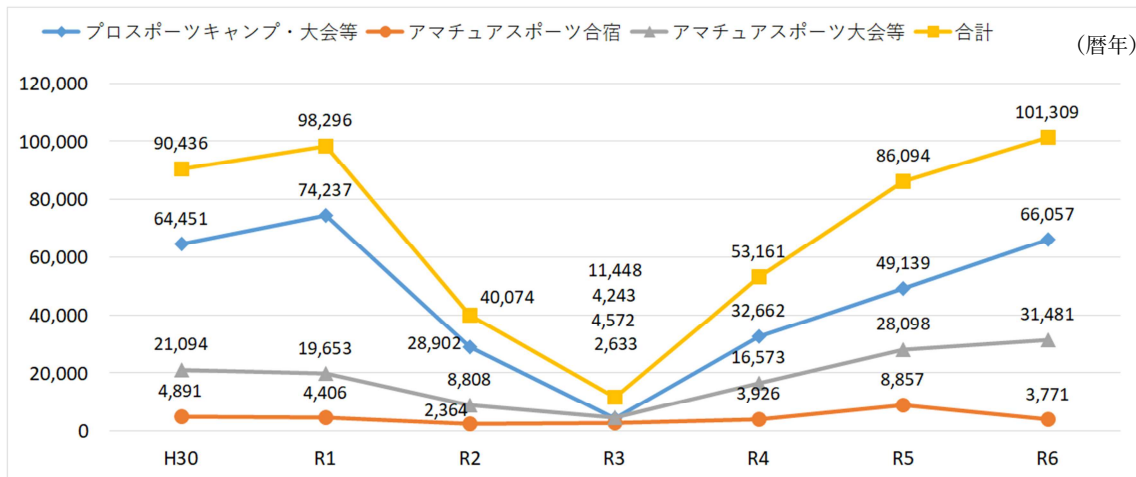
※ 推計範囲は、区分①～③とします。

※ 総消費額：3,929百万円－地域外に流出した額：638百万円＝直接効果：3,291百万円

※ 人込客数及び延べ人数の推計方法は、「令和6年県外観光客入込・動態調査」及び「主催者の公表」、「高知県観光コンベンション協会のスポーツ合宿助成事業及びコンベンション開催支援事業における助成金利用実績」、「高知県共催及び後援事業利用実績（スポーツ大会等）」、「高知龍馬マラソン等のスポーツ大会開催実績」、「高知ファイティングドッグス、高知ユナイテッドSCの観客者等」をもとに推計。

※ 総消費額は、「令和6年県外観光客入込・動態調査プロスポーツキャンプ等調査における平均観光消費額」及び「高知県観光コンベンション協会が実施したアンケート調査における平均消費額」をもとに推計。

2 スポーツを通じた県外からの入込客数の推移



<主なポイント>

○新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年以降、全体的に入込客数が落ち込んでいるが、令和4年以降は回復傾向にあり、令和6年はコロナ禍以前を上回る県外からの入込客数まで回復した。

○アマチュアスポーツ合宿は、気象庁から令和6年8月に発表された「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の影響を受け、令和5年に比べて減少した。

3 プロスポーツキャンプ等の開催状況

(1) プロ野球春季キャンプ等

チーム名等	キャンプ施設	キャンプ等の期間
埼玉西武ライオンズ	高知県立春野野球場	R6/2/6～25 (20 日間)
ハンファイーグルス 【韓国】	高知県立春野野球場	R6/2/5～28 (24 日間)
KIA タイガース 【韓国】	高知市東部球場	R6/2/9～29 (21 日間)
プレシーズンマッチ	高知県立春野野球場	R6/3/2～3 (2 日間)

(2) Jリーグ春季キャンプ

チーム名	キャンプ施設	キャンプ期間
ブラウブリッツ秋田	高知県立春野補助競技場	R6/1/10～1/24 (15 日間)
徳島ヴォルティス	高知県立春野球技場	R6/1/11～1/19 (9 日間)
カタレ富山	高知県立春野球技場	R6/1/21～2/11(22 日間)
アルビレックス新潟	高知県立春野陸上競技場	R6/2/3～2/16 (14 日間)
いわてグルージャ盛岡	高知県立青少年センター 陸上競技場	R6/2/12～2/22 (11 日間)

(3) プロ野球秋季キャンプ

チーム名	キャンプ施設	キャンプ期間
阪神タイガース	安芸市営球場	R6/11/1～17 (17 日間)
オリックス・バファローズ	高知市東部球場	R6/11/5～18 (14 日間)

(4) プロゴルフ大会

大会名	開催場所	開催期間
明治安田レディスヨコハマ タイヤゴルフトーナメント	土佐カントリークラブ	R5/3/7～10 (4 日間)
カシオワールドオープン ゴルフトーナメント	Kochi 黒潮カントリー クラブ	R6/11/21～24 (4 日間)